

聖徒の道

2

1958年3月17日第3種郵便物認可（毎月1回1日発行）第9巻第2号 1965年2月1日発行

SEITO-NO-MICHI



堅き 巖よ、喜びに泣け。

日よ、月よ、暁の星よ、

共に唱え。

神の子らよ みな喜びの声を挙げて叫べ。

永遠の創造物よ、

御名をとこしえに宣べよ。

(教義と聖約一二八章二三節)

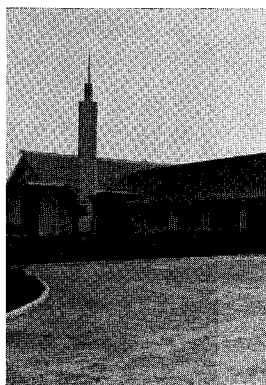
聖徒の道

第9巻
第2号

1965年 2月号

目次

予言者のことば	55
伝道部長のことば	58
神殿プロジェクト	62
質疑応答	64
役員紹介(北海道の巻)	67
系図のページ	69
家紋について	71
支部だより	72
扶助協会レッスン	76
伝道本部だより	93
扶助協会会長メッセージ	95
英語のページ	100



<東京西支部>



大管長 デビッド・O・マッケイ

愛は愛を生み、親切は一層の親切
を招き、親切と愛とは平和を生
む。

人類がこの簡単な教訓を学んで知
るとき、当然の結果として平和が
人類に来るであろう。

予言者のことば

二つの道がある

大管長 デビド・O・マツケイ



人は善悪いずれをも選ぶことができる。人は暗黒の中をあるくことも光明の中をあるくこともできる。主なる神は、この地球上にあつたいろいろな神権時代に、人がその中をあるいてつまずかない、また愛情のある父なる神として、その子供たちに受けよと望みたまう平和と幸福とを人が見出すことのできる、福音の光を人々に与えたもうている。しかし主なる神は人からその自由意志をとってはおいでにならない。

予言者リーハイはその息子のヤコブに語って次のように言った「それであるから、主なる神は随意に行なう自由を人間にゆるしたもうた。しかし人間はもしもあれに誘われこれに誘われなければ、随意に、選び行

なうことはできないのである」(ニーフアイ第二書二〇十六)。

それからまた二十七節には次のように出ている。

「それであるから、人はみな現世において自由であり、およそ人間のためになるものは何でも与えられる。そして万人に為したもうたメシヤの大いなる賢い仲裁によって自由と永遠の生命とを選ぶか、または悪魔は万人が自分のようにはじめにすることを求めているから、その束縛と力とに由って定まる束縛と死とを選ぶか、これは全く人間の自由である」。

神は現に万国民の行くべきをよく見ておいでになる。シェークスピアは次のことはその劇の一つの中でしるしている。

「人間の最後を定める神があつて、人間がどうなるかを荒削りする」(ハムレット第五幕)。

われわれは「自分の行くべきを荒削りする」ことができるかも知れない、またわれわれは自分の行く道をえらぶことができるかも知れない。しかし、神はわれわれの行動やよろずの国民の行動を支配して、神の神聖な目的を完成したものである。

思うに、神は現に気まぐれな神の子らのおろかな行ない、罪とがとによる避けることのできない結果を嘆きながら「永遠」の影の中に立つておいでになる。しかし、われわれは次のようなことをその息子にかける父親を非難することができないと同じように、これらのことのために神を非難することはできない。その父親は息子にむかつて言う「息子よ、ここに二つの道があつて、その一つは右へ通じ、今一つは左へ通じている。もしもお前が右へ行く道をとれば、お前は成功と幸福に至るであろう。もしもお前が左へ行く道をとれば、お前は不幸と悲惨と

おそらくは死とに至るであろう。しかしお前は自分のところに欲する道をえらべ。お前は自分で選ばなくてはならない。わたしはどちらの道もお前に強制はしない」と。

その若者は出発して、左へ行く道の中にある誘惑やみりよくを見、これが自分の幸福を得る近道であると思つて左へ行くときめる。ところがその父は左へ行くと彼がどうなるかを知っている。その父は、そのはなやかな道を行けば間もなく泥の穴があつて息子がきつとおち入ることを知っている。また、その父は息子がやつとのことで泥の穴からはいあがつて行くと、今度はどうにもならないぬかるみがあつて、息子ががくことを知っている。また、その父はその道をえらんだけかの者たちも、そのぬかるみの中におち入っていることを知っており、またその泥の穴から乾いた地上へ上ろうとするときには必らず争闘のあることを知っている。父親は息子がそのような状態におち入るずつと前からそれを見ることができた。従つて父親はそれをあらかじめ告げることができた。その父は、今もお始めと同様に息子を愛しており、正しい道(または右の道)へ立ち返るようなおつづいて息子に警告を与えつにねがうことである。

神もまた、昔の予言者たちを通して、個人も国民も神の子らの多くが不幸と死に至る道を選ぶことを世の人々に示し、それを予言なさつたが、不幸や死を蒙ることの責任は、神の告げたもうことばに注意しない人々にあつて、神にはない。しかし、神は無限の知恵によつて、神の息子と娘たちすべてのために、これら罪人の行動を支配し(神の目的を完成したもうにちがい

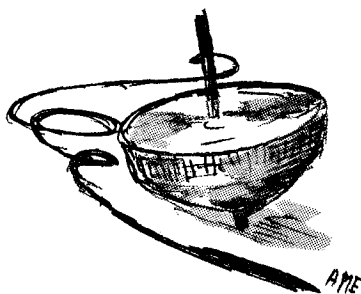
ない、神がその息子や娘たちを愛したもうみこころは常にあらわれている。

わたしもあなたも、共に人間の得られる最大のめぐみ、すなわち末日聖徒イエス・キリスト教会の会員たる資格と、神が現に生きたもうてその子らを愛したもうという「あかし」とをもっている。

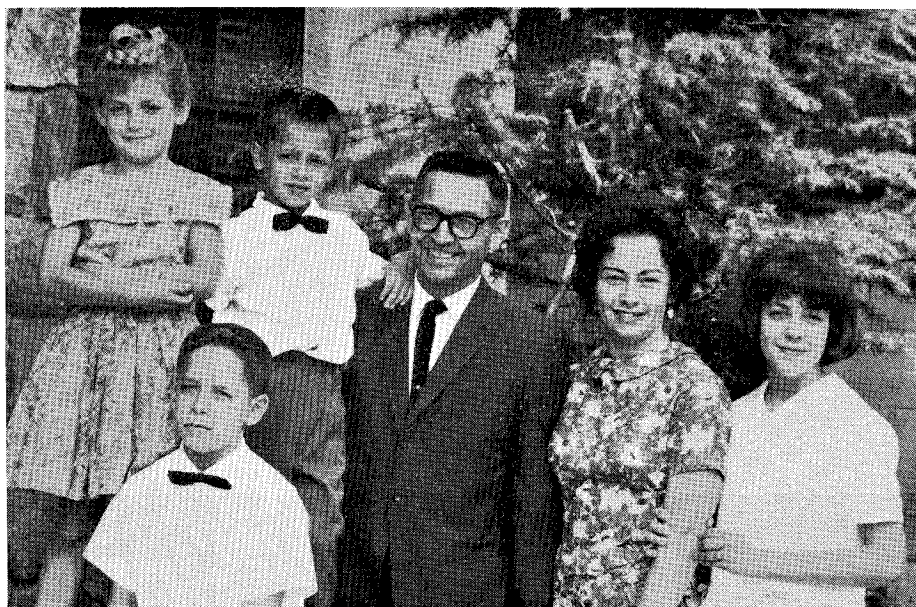
その「あかし」を専任宣教師として宣べ伝える特権をもつ者はわずかに数千人だけであるかも知れない。しかし、わが教会の会員である者はすべてイエス・キリストの福音に従って生き

る機会を持って、各自が永遠の生命に至る道を歩むに当り、各自の自由意志を行使することを示すにちがいない。

この責任と機会とは、世の人のすべてに示す模範となるためわたしたちに来る。神よ、わたしたちがこのようにふるまうことによつて、教会員が万国の民のおおぐ旗じるしとなるように助けを与えたまわんことを。まことにこのような者は、人々が神のみもとへ立ち返ろうとするに当り、人々にとって道しるべとなるにちがいない。



伝道部長 ダウエン・N・アンダーセン



もう休みの時期もおわりましたから、いまわたくしたちは、昨年中によくやったこともできなかったこともじつとながめて見ることが大切であります。これらのことは、これからさきわたくしたちの進んでゆく道しるべになります。わたくしたちの個人的な生活でも教会の活動でも、成しとげられるのは立てた目標だけのことにはすぎません。進歩の原則は、末日聖徒イエス・キリスト教会のすばらしい要素であります。わたくしたちは人間が永遠に進歩をするという教えを信じています。O・C・タナー長老はモルモンの考えを次のようにたくみに述べておられます。

「進歩ということは、完全に末日聖徒の教義の一部分になっ
ているから、モルモン教は進歩の宗教と呼んでもよいであ
ろう。それには二つの理由がある。第一は深刻な厭世観を完
全に否定している、神と福音の道を信ずる信仰である。つま
り神は、宇宙の中にある人間の行くべきが、しだいに溶けて
人間とそのあらゆる希望を沈め去る氷のかたまりの上に乗っ
ているようなものであるというあらゆる失意落胆にこたえる
答えである。神と共に、目的とかがやかしい行くべきと愛が
ある。神と共に、純粹な失望はない。信仰に対する第二の根
拠は、人間に関するモルモンの考えである。人間は、たいて
いのクリスチャンが信じているような本来悪であり、無価値
であり、神のめぐみによってだけ救われる者ではない。人間
は本来善であって、福音の理想の真実であることを信ずる信
仰によって自由を得た生活、すなわち見えざる伴侶（とも）
であり、道をふみ行くとときの助け手である神と共に生きて道

徳のおきてに従い、全世界のあらゆる地に住むあらゆる神の子を愛する生活の中に喜びをもつを目的とする生活は、大きくなって

いに全人類を含むまでになる愛によって、機会の許すかぎり広く神の子らの社会の助けとなる。そして、この世を去ったのちも、さらに高い資格と、さらに充分な能力とをもつてつづけるのである。」

新年を迎えるたびに、末日聖徒の心には新しい希望、成長と進歩をするための新しい機会が与えられます。新しい地平線は、わたしたちの前に奮起を要求しています。わたしたちは起ち上ってその挑戦にこたえるにちがいありません。ウイルフォード・ウッドラフ大管長は「わが兄弟姉妹よ。それにもかかわらず、わたしたちはこのわざのために努力をし進歩をしている。シオンは前進をしている。神のみ国はますます増大している。この神のみ国の進歩は、組織されたその日から今日まですこしも休まずつづいている。その進歩は、神のみ国がこの地上で組織された目的のすべてが遂行されるまでやまないにちがいない」と言われました。

教会の進歩は、教会員一人一人の成長によるにちがいありません。一人一人の進歩に重

要なことは、ルカによる福音書の第十一章九・十節にあります。

「そこでわたしはあなたがたに言う。求めよ、そうすれば与えられるであろう。さがせそうすれば見出すであろう。門をたたけ、そうすればあけてもらえるであろう。すべて求める者は得、さがす者は見出し、門をたたく者はあけてもらえるであろう。」

「救い主」が仰せになったこれらのことばによって、わたしたちは過去のまちがいから教訓を得、これによって一層大きな未来をきずくことを得て前進しなければなりません。わたしたちが過ぎ去った年の成績を考えて来る年のために目標を立てるとき、これを一番よく為しとげることができます。

千九百六十四年（すなわち去年）のために五つの目標が立てられました。伝道部は各々の面で行くらか進歩をしましたが、わたしたちは各々の目標に達するには至りませんでした。それで、この千九百六十四年の目標をもとにして、さきごろ地方部長会のゼミナールで千九百六十五年の目標が立てられました。

伝道部ならびに地方部の指導者たちは、前年中に得た経験から、千九百六十五年はさらに大きな進歩をする年であることを確信してい

ます！ 次に千九百六十五年の目標をあげますと、

(一) 各支部でアロン神権定員会またはグループを完全に組織すること。

アロン神権者となることは、若い人々にとってメルケゼデク神権者となる、または教会の指導者となる準備であります。十二才以上の男子で教会員となった者は、各々バプテスマを受けてから六週間から八週間のうちに神権を受ける準備をして実際に神権を受け、ついて組織された定員会もしくはグループの中で古い会員によく溶けこみ活発な会員にならなくてはなりません。

(二) 改宗者のバプテスマをふやすこと。

回復された福音のことばを、アジア諸国にすむ莫大（ばくだい）な数の「心の正しい人々」に伝えなくてはなりません。

(三) 神権者会出席率の平均を毎月一パーセントづつあげて、年の終りまでには全伝道部の平均を四十五パーセントにまであげることに。

(四) 聖餐会出席率の平均を毎月一パーセントづつあげて、年の終りまでには全伝道部の平均を三十三パーセントにまであげることに。

(五) 各支部における「ホームティーチング・プ

「プログラム」を改善すること。

例今年七月二十二日―三十一日に、百四十人の日本人会員をハワイの神殿へ送って「伝道部最初の神殿行き」を首尾よく完成すること。

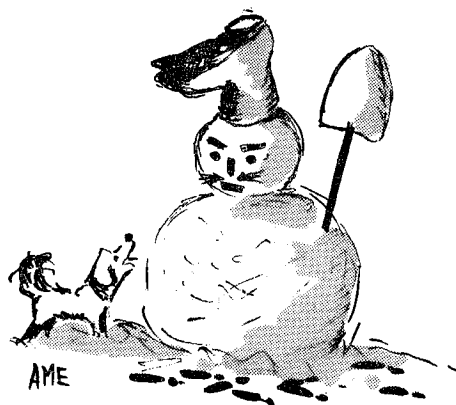
まだ配布されていないたくさんのお・レコードと、いくらかの真珠がのこっています。これは全会員の努力が結集されてはじめて成功することです。教会の指導者たちは、日本人がこの計画をどんなによく実行するかを知ろうと見守っています。

以上挙げた目標が完遂されるかどうかは、あなたがたの努力次第であります。もしも一人一人の会員が自身でこの目標を立て、それに向って前進するなら、たしかに伝道部の目標は達成されるにちがいありません。

「末日聖徒にとって、わが教会が全世界にわたって成長しているから未来はかがやかしい。モルモン教は世界の人々がまだ理解することのできない活気あふれる力をもっている。これには多くの理由があるが、その中の一つは、末日聖徒が深く信じて実行している一つの理想、すなわち永遠進歩の理想である」(O・C・タナー)。

日本と沖縄において、未来は今が一番かが

やかしいのであります。あなたがたは、その進歩の鍵とも言える大切な人々であります。心の奥をよくながめて、上の方を向いてください。



民数記断想

新田 兄弟

アロンの杖

『そこには金の香壇と全面金でおおわれた契約の箱がおかれ、その中にはマナの入っている金の壺と、芽を出したアロンのつえと、契約の石板とが入れてあり』(ヘブル書九章四節)

『箱の内には二つの石の板のほか何もなかった。これはイスラエルの人々が、エジプトの地から出たとき、主が彼らと契約を結ばれたときに、モーゼがホレブでそれに納めたものである』(列王記上八章九節)

マナとアロンの杖は、イスラエルの荒野のさすらい中の民の任用に応えるための神の恵みの備えであった。

列王記のときは、イスラエルの荒野のさすらいは終って、ソロモン時代の栄光がカナンの地に輝いていた時である。

それで、芽吹いた杖も、マナの壺もそこにはなく、神の掟のほかは何も残っていないかった。

現代は、神の恵みの時代であり、荒野のさすらいと、戦いの時である。



ハワイ 神 殿 に 行 か れ る

＜ 佐 藤 竜 猪 兄 弟 ＞

佐藤兄弟は今年（1965年）7月にハワイ神殿で行なわれる神殿儀式の儀式的用語を日本語に翻訳される。

ハワイ向け出発は1月下旬の予定です。佐藤兄弟はいまその準備に忙しい毎日を送っておられます。また息子さん（泰生兄弟）の御結婚をも控え、嬉しい悲鳴をあげておられるようであります。

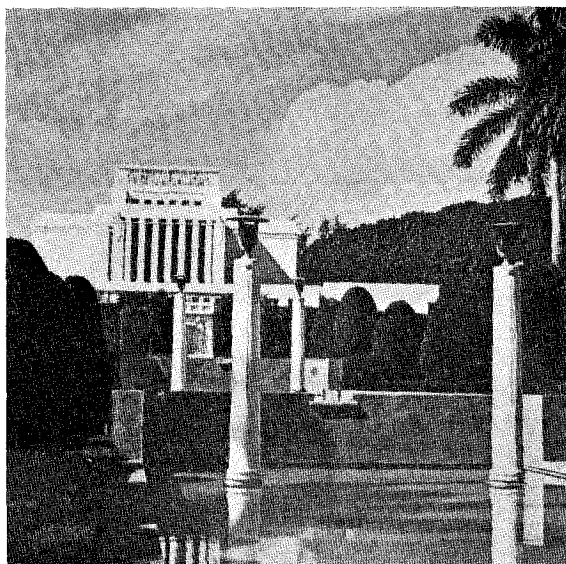
私たちは佐藤兄弟が神様のお仕事を無事におえられるようにお祈りしたいと思います。

主よわれは何をなすべきか

神殿プロジェクト

伝道部神殿プロジェクト委員会

菊 地 良 彦



神殿の特権は地上に在る神の民に与える神がおもちになっている最大の祝福であります。神殿へ行くためどのような犠牲を払って準備しても大すぎる犠牲ではありません。（聖徒の道一九六四年、六七五ページ）伝道部では一九六四年度の目標の一つとして日本の聖徒たちが今年（一九六五年）七月にハワイ、ライエの浜辺にある神殿へ行き、救いと昇栄に必要な神殿の儀式が受けられるよう計画しております。旅費は団体で、しかも夫婦で往復が三十四万円かかりますがその内半額十七万円は本部で払うことになっています。この旅費の半額（十七万円）を獲得するために、神殿プロジェクト委員会では、聖徒は歌う、という選集レコードとパールのネクタイピンを配布しました。このレコードと真珠は長老委員会グループリーダーと支部長の努力でみなさまの手に配布されましたが、これらは販売するものではありません。この計画に協力し、寄附して下さいた方々にお礼としてさし上げるのです。兄弟姉妹一人一人がこのすばらしいプロジェクトを押し進められるよう希望しています。どうぞ友人や知人に、この計画を説明して下さい。あなたがどんな助けを与えることができるのか、支部長やグループリーダーは良く知っておりますからどうぞ、さたずねて下さい!!

もうすでに発表されましたが、神殿内の儀式的用語は全て日本語に翻訳することになりました。佐藤竜猪兄弟がまもなくハワイへ行かれ、その仕事にとりかかります。これは真に神の大きな祝福であり、ねむり深き東洋の夜明けの一つのしるしと思われます。なんとすばらしいことでしょう。この計画は神殿に入り儀式を受けるその人たちは勿論のこと、将来神の王国の完全なプログラムがこの地に始まるのに大きな助けとなり、長い目でみると、わたくしたち一

一人の祝福となって来るのです。最初のグループを送り出すことは二度三度と送ることを可能にするのです。

ある人が神殿に入ったその感激と意義を「……もっと大切なのは私たちの二人の間で分け合う愛と私たちが神殿で結婚をしたことによって、永遠にわたり続けて共に愛することができていることを知っている」という事実とであります。——わたくしたちの兄弟姉妹に同様の機会を与えてやることはなんとすばらしいことだろう。あなたのできるどのような方法によっても「神殿行き」の計画を支持し、積極的にやってみて下さい。必要ならば犠牲を払って下さい。

（聖徒の道、一九六四年、六七五ページ）、ブライアント・S・ヒンクレー長老の父）は献身について、更に高度の律法は人がその全時間、全能力を熱心に地上に於ける主の御業に献げることである！といわれました。他人のため、神の国のため献身することによって主は大いなる生活の奥義を明らかにしたもうた、といっております。

トルストイもまた長年の経験から自分がつづった雪の中に真の幸福について、自己犠牲と愛について、愛はそれが自己犠牲であるときにのみ愛である。このような愛にのみ幸福がある、といっております。

兄弟姉妹のみなさま今一度主がゲッセマネにて祈られた、御国がきますように、みこころが天に行われるとおり、地にも行われますように……を深く心に思い、この神殿プロジェクト（神殿訪問計画）が成功するように心静かに祈ろうではありませんか。献身的な態度で、私たちも努力しようではありませんか。東京中央支部のある系

図委員は一人で真珠を六個、レコードを三枚配布しました。この兄弟のように、わたくしたちも頑張ろうではありませんか。

世はよく働く
活気をもって ♪=104 The World Has Need of Willing Men



世はよく働く 人を求む

よきわざ助けて 車を押せよ

押せ肩の力もて

うたいて義務を果たせ

人みなたゆまず

車を押せよ

質 疑 応 答

キリストの身代りのあがないによって

誰の罪がゆるされるか

解答者 ジョセフ・フィールディング・スミス長老

質 問。

教義に関する問題を論じていたとき、救い主イエス・キリストはその身代りのあがないによって、アダムの子である全人類の罪をあがなって下さったか、それともキリストはアダムの罪のためと福音に従う者たちだけのために十字架で苦しみを受けられたのか、どちらであるかという質問がありました。およそ地球上に生を受けたものはすべて復活をするのであるから、アダムの墮落によって「死なねばならぬ体」をもつようになった生きものはことごとく復活をするということは、みなの方が了解していました。救い主のぎせいがすべての人類をその罪とから救うかどうか、そのとき論じられた問題でした。この点についてはっきり教えて下さいませんか。

解 答。

人類の救いという問題は「あがない主」イエス・キリストがユダヤ人に導きとめぐみを施しておいでになったうちに、はっきり答えておいでになったことである。イエス・キリストは、悔い改めをして福音の儀式と教えとを受け入れる者は、ことごとく父の御国に入っ



て平和とやすみが与えられるとお言いになった。また「救いの計画」を受け入れない者たちはその罪からきよめられないとはっきりお言いになった。「あがない主」イエス・キリストの多くの説教の中にも、またペテロやパウロの書いたすばらしい手紙の中にも、「救いの計画」がはっきりと述べてある。

「あがない主」イエス・キリストは「すべて重荷を負うて苦労している者は、わたしのもとに来なさい。あなたがたを休ませてあげよう。わたしは柔和で心のへりくだった者であるから、わたしのくびきを負うて、わたしに学びなさい。そうすれば、あなたがたのたましいに休みが与えられるであろう」(マタイによる福音書十一〇二十八―二十九)とたえずしきりにねがっておいでになった。

「救い主」イエス・キリストによる身代りのあがないは二つのすばらしいことを完成した。第一に、イエス・キリストの身代りのあがないによって「死なねばならぬ体」をもって生きているものは、すべて「永遠の生活」を回復する、すなわちイエス・キリストのあがないによって「死なねばならぬ体」をもったすべての生きものは復活をして、死がどうすることもできない永遠の力を与えられることである。第二には罪のゆるしを与えられることである。

千八百三十年の九月に予言者ジョセフ・スミスに与えられた啓示の中に、復活と復活の完全性または普遍的の性格に関するすばらしいかつ明瞭な説明がある。すなわち、

「また全地の中の浮れ女なる、かの大いなるにくむべき教会はこれらの事につきて語りし予言者エゼキエルの口によりて言われしごとく猛火によりて焼きはられん。この予言はまだ現われずといえども、このことわれ今生くるがごとく違わず来るべし。およそ、

にくむべき悪は世を支配すべからざるがゆえなり。

「また誠にまことにわれ汝らに告ぐ。この「福音千年」すぎ去りて人々再び彼らの神を拒み始むるときその後われわずかの間のみ地を助けおくなり。やがて終末は来り、天地は焼きつくされてすぎ去り新しき天と新しき地とあらん。すべて古きものは過ぎ去り、天地すらも、またその中にあるすべてのものも、すなわち人、けもの、空の鳥、海の魚も万物ことごとく新しくならん。

「されど一筋の髪の毛、一粒の微塵といえども失なわれることなからん。それらのものは、みなわが手によりて造られしものなればなり。

「されど見よ、われまことに汝らに告ぐ。この世の過ぎ行く前、わが天使長ミカエルはその持てるラッパを吹き鳴らすべし。それよりすべて死にたる者は眼をさまし、墓の開かるるがゆえに正にみなことごとく出で来らん」(「教義と聖約」二十九〇二十一―二十六)。

復活は人間のためだけであって、動物や植物は霊がないから「神の子」イエス・キリストのぎせいによって「あがなわれ」ないという筋の通らない考えをもっている人々がある。

千八百三十二年に予言者ジョセフ・スミスに与えられた啓示の中に、兄弟たちの一人が寄せた質問に対する答えが次のように出ている。

問。(黙示録第四章第六節)中に言われる「四つの生き物」によりて何を理解すべきか。

答。そは、黙示者ヨハネが神のパラダイスなる天、および人、けもの、這うものと空の鳥との幸福をしるすに用いたる表象的言いあらわしにして、霊界のものはこの世のものの象(かた)にして

この世のものは霊界のもの象（かた）なればなり。すなわち人間の霊は人の身体象（かた）にして、また神のつくりたまひしあらゆるものおよびその他の生物の霊もみなかくのごときを誌せしなり」（「教義と聖約」七十七〇二）。

主なる神の下したもうた啓示により、われわれはアダムとイヴが神のことばにそむいた以前には、この世に死というものがなかったことを知っている。パーレー・P・ブラット長老はその著「ヴォイス・オブ・ウオーニング」の中で、当時この世にあった絵のような美しい光景を描写している。アダムとイヴが禁断の木の実を食べたとき、それによってアダムとイヴの二人が「死ぬべき体」の者になったばかりでなく、空の鳥も、水に住む魚も、地球上にあるすべての生きものも（また地球そのものも）「死ぬべき体」のものとなった。すなわち地球そのものさえ、死の種子をまかれたのであった。そのとき以来、地球も含めてすべての生きものは「死ぬべきもの」としての生活をいとなんでいる。

この普遍的回復（すなわち万物の復活）は万物にひとしく及ぶのであるが、地球上に住む人々はそのわざによって酬いを受ける。その人々の中には神の国（日の栄の王国）の最高に昇って神々となり、永遠にふえる力をめぐまれる者がある。また月の栄の王国に入って永年に孤独別離の生活を送る者もあれば、「外の暗きに捨てられ、そこにて泣き悲しみがみする」者もある（「教義と聖約」一四一〇九十一）。

「神の子」イエス・キリストの受けたもうた大きな苦しみとぎせいの意味を知ろうと努力している多くの人々の心の中には、救い主の身代りのぎせいということの深い意味を、教会の会員たちがはっ

きり理解しているかどうかについて重大な疑問が起る。われわれは聖餐をいただくときに、イエス・キリストの死を象徴しているパンと水とをいただくに、われわれ人類がイエス・キリストの誠命を守ることによって各自の罪とがによる苦しみをのがれることができるよう、「あがない主」イエス・キリストが経験されたきわめておそろしい試練をできるだけ心に思い浮べようと努めているであろうか。われわれ人間には充分に思い浮べることはできないが、イエス・キリストは予言者ジョセフ・スミスにたもうた啓示の中で、次のような感動的なことばでそのおそろしい試練をあらわす描写しておいでになる。

「見よ、われは神なるに、人もし悔い改むるならばこの苦しみを受けざらんがために、すべての者に代りてこの苦しみをわが身に受けたらう。

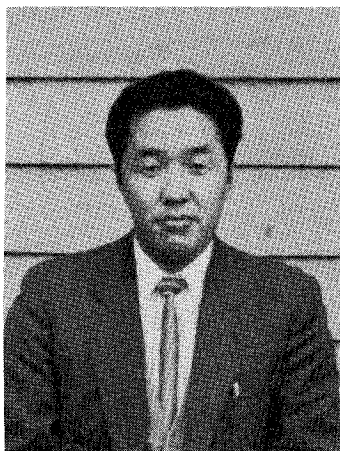
「されど、人もし悔い改めずばまことにわれと同じ苦しみを受けるべからず。

「その苦しむたるや、われ神、すなわちすべての中最も大いなる者なりといえども痛苦のために身をふるわせ、あらゆる毛の孔より血をわかせ、身と霊とふたつながらを苦しめ、すなわちこの苦しさかずきより吞まずしてしりごみするも可ならんことを欲したり。

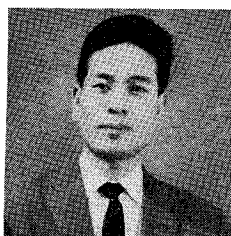
「然はあれども、父なる神はほむべきかな。さればわれはこの苦しみをなめ、人の子らのためにととのえを為し終りたり」（「教義と聖約」十九〇六—十九）。

聖餐のパンと水とをいただくとき、「神の子」イエス・キリストがゲッセマネの園で、われわれのためにひじょうな苦しみをなさったときのそのきわめて大きな受難を、何人の教会員がありありと心に思い浮べるであろうか。

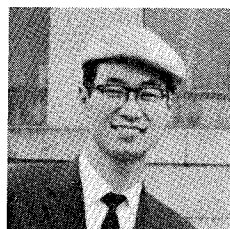
北海道地方部役員紹介



地方部長 柳 沢 俊 雄 兄 弟



第二副地方部長 潟 沼 誠 二 兄 弟



第一副地方部長 松 下 泰 洋 兄 弟

評
議
員

福
原
俊
明
兄
弟

藤
田
秀
光
兄
弟

書
記

児
島
克
己
兄
弟



室	小	旭	札
蘭	樽	川	幌
支	支	支	支
部	部	部	部



ホーム・テイチングの

方法と内容

ホーム・テイチングとは系図の委員二人が組になって会員の家庭を訪問して、先祖の人々を救うためには系図を作ることが必要であることを教えることです。

兄弟姉妹の家庭を訪問してひぎを交えて親しく語り合うことは日曜学校などのレッスンとは別な雰囲気なので教える人の言葉が教わる人の心に親しい感情と共に強い印象を与え

るので系図作製への熱意が一段と盛り上ると思います。

では私たちは兄弟姉妹の家庭を訪問してどのような話をしたらよいのでしょうか。それを次に書きますが、皆さんがこれを参考にしてくださるようお願いいたします。

「B兄弟と共にあなたのお宅を訪問し、ホーム・テイチングができますことを感謝しています。私たち支部系図委員はあなたに系図探求の重要性を知っていただきたいと思って今晚お伺がいたしました。

さて、私たちは何のために先祖のために働くのでしょうか。まずその前に、あなたがバプテスマを受けられた当時を思い起してください。その当時、兄弟姉妹として神の子として生れ変わったことをどんなに喜んだか、そしてまた救いの道を実行していることを感謝しているかを思い起してください。この喜びをあなたの先祖の人々、すなわちあなたの御家族のうちで亡くなられた方々や、お祖父さん、お祖母さん、またずっと先の先祖の方々

にも与えてやりたいと思いませんか。思いませんね。

そのためには、先祖の系図を調べてそれを神殿で死者のバプテスマを受けさせてあげることです。先祖の方々は霊界で私たちが受けて来たような家庭集会を受けているかも知れません。そしてこの教えが本当に正しいと信じて受け入れようと努力しているかも知れません。しかしながら霊体であるために彼らはバプテスマを受けることはできないのです。私たちが家庭集会を受けてこの教会の御教えが正しいと信じて受け入れようと努力している矢先、もしも『あなたは罪の許しを得るバプテスマも聖霊を受けるための按手礼も受けることはできません』と宣告されたとしたならば、どんなに悲しく思うでしょうか。そのことは先祖の方々についてもいえると思います。彼らはこの教会の御教えが正しいと信じて受け入れようと努力しているかも知れませんが、バプテスマを受けられないのです。しかしながら先祖の人々は希望を捨ててはいません。なぜならば彼らの子孫であるあなたが末日聖徒として正しい会員であるからです。彼らはその大きな希望をあなたにかけてくれるのです。そのことを本当に信じてくださ

い。そしてあなたの愛する先祖の希望をどうかあなたがかなえてあげて下さい。

東京中央支部のある姉妹は次のような証詞をされました。

『或る夜夢に死んだ母が現われて嬉しそうに一生懸命、身仕度しているのに会いまして。私は「どこへ行くのですか」と問いかけると「これから神殿へ行くのですよ」と今までにないような晴々とした喜びの顔で答えられました。そして戸の入口を見ますと、そこには多くの見知らぬ人々が私を待っていました。これは私がちょうど系図の探求に努力している頃に見た夢でした。私は不幸であった母も、霊界にあって死者のパプテスを心から喜んでいるのだと思います。そして夢の中の見知らぬ多くの人々はきっと私の先祖の人々であると思います。彼等は私の系図探求の仕事が進むことを心から願っていると思います。そして私は此の仕事に努力出来ますことを心から感謝しています。』

(もしも支部の系図委員にこのような証詞があったらそれも話して下さい)

あなたの愛する先祖の方々は心からあなたの働らきを待っています。

では、彼等のために具体的にどんな仕事を

することによって救って上げることが出来るでしょうか。それは霊体である彼等の身代わりになって私達が死者のためのパプテスマを受けけることです。次にその手順を話しましょう。

(71頁より)

を光栄とし、はなはだしいものにいたっては、これを僭用するものがでくるようになった。

したがって天正十六年豊臣秀吉は法令を発して、菊桐の紋章を用いることを禁止するようにになった。

徳川時代に至り参勤交代が行なわれるようになり幕紋、船印および狭箱などの紋は道途相違の場合において主として諸大名を識別する唯一の目標となることにより、おのおの紋章を熟知する必要が起り、武鑑の出版が行なわれて紋章の知識はだんだん普及するようになった。

元禄時代より寛永年間を経て寛暦の頃に至り紋章を改造して衣服の紋様に用いられるようになり、崩壞もこの頃行なわれるようになった。

そして上は王公より下は俳優・娼婦の輩に

至るまで競って紋章を用い、各々その技巧を競うようになった。

その後幕府政權を朝廷に奉還し、諸大名の参勤交代もまた止み、紋章の用途がにわかに減じついで維新以後、風俗にわかに改まり衣服、住居のごとき洋風を採用し衰えたが和装における礼服にはなお白襟、黒紋付を称してこれを用いるものが少くない。

「その意義」

①尚美的紋章：藤原時代に行なわれた衣服の紋章より

藤・杜若(カキツバタ)、竜膽(リンドウ)、

(花卉・木葉)

②尚武的紋章：刀剣・弓矢・弦巻・釘貫などの武器を用いて作る。

劍梅鉢・劍木瓜・劍酔梁草・檢桔梗

③歴史的紋章：名譽を後世に記念するもの、作竹秀義が源頼朝の陸奥の征代に従軍したとき、頼朝より月丸の扇を賜ったことを記念として家紋として定めた。

④宗教的紋章：自分の信仰している神仏に係する器具又はこれを代表するもの

卍・鳥居・幣・易の八卦・丸字・十字

⑤瑞祥的意義

家門の繁栄

身命の長寿：つる・かめ

戦争の勝利

植物紋：菊・桐・牡丹・葵

系図について調べて行く時、私たち日本の家族にめいめい特定な「紋」を持っているのを見い出します。

その家紋について述べてみましょう。

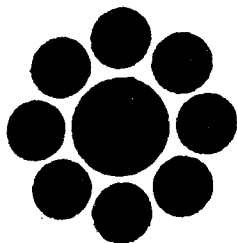
「起源——沿革」

藤原時代の末に始まったと思われる。

車に装飾として書き、あるいは混雑の場合にこれを識別する目標となしておおいに便利となり多くこれを用いるに至り、遂にはその家の「家紋」となったものです。

源平の頃に至り、近衛家の「牡丹」・勧修寺家の「竹に省」・久我家の「竜膽（リンドウ）」等相次いで用いられるようになった。そして当時これらの諸家の定めた紋所はいづれも藤原時代から衣服・調度の紋様として行なわれたものを撰んだため今日に至っても、公卿・華族の家紋は草木・花卉を用いたものが多く主として美術的紋章に限られています。武家の家紋については、その始まりは明らかではありませんが、源平戦争の頃すでに東国の武士には紋章を用いたものがあります。しかし当時武門の棟梁である源平二氏はなお家紋がないためその戦場に使用された旗をみると、源氏は無紋の白旗、平氏は赤旗を用いていた。

家紋について



東京東支部 重山義夫

源平戦争の頃より鎌倉時代（一一九二年）の

始めにわたって戦争がたびたび行なわれて、家紋は軍隊の進退等に最も必要な目標となつてから、あまねく武人の間に行なわれ、文永弘安の役に出陣した九州の諸大名の旗を見る

と 島津氏 十字紋

少式氏 鷹羽

竹崎氏 四目結

大矢野氏 三目結

桐

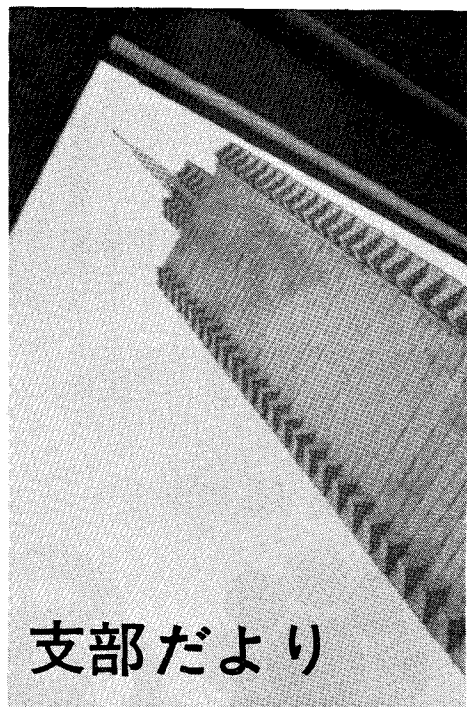
の紋を用いていた。

而して皇室が、菊、桐をもつて御紋章と定められたのも又この頃であると思われる。南北朝時代から足利時代に至り紋所の用途は益々広まり、衣服・旗幟はもろろのこと、甲ちゅう・武器・刀剣等、武具・調度の用具に至るまでほとんど家紋を用いないものはなくなり、この時家紋は家門を表示するべき貴重なものとなり、家子・郎党であっても同一の家紋を有するものは同紋衆と称し、主将が士卒の戦場に臨むものを激励するとき家紋を辱めないことをいうようになった。而して士卒の勲功あるものを資するには時にその家紋をもつてすることが行なわれたので、従つて、権門、勢家の紋章はこれを用いること

旭川支部

今日は、全国の兄弟姉妹、真白い旭川からお便りします。去年旭川支部は雪のないクリスマスでしたが、今年は雪が多いのですばらしいホワイト・クリスマスを迎えることが出来るそうです。

では、今月のニュースに入ります。この頃旭川支部ではザル教会の汚名を返上しようと大変フェローシップングに力を入れていきます。そして又、家族的な雰囲気の中に友情を



支部だより

育てようと会員のお家で集会が開かれることが多くなりました。この中の二つほどとてもすばらしかった集会をお知らせしましょう。

まず十一月

二十三日勤労

感謝の日午後

三時頃からフ

エロースリップ・スクールを兼ね、安田兄弟のお宅に於て、二年半の伝道期間を終えてカナダへ帰られるヤング長老と岡山支部へ転勤されるディーツ長老の送別会が開かれました。この集会に参加した会員、求道者は三十人以上で支部長さんのお家もはち切れそうでした。五時半頃迄価値ある雑談をしておりましたが、その後安田姉妹と扶助会の方々が用意して下さった食事をいただき小さなゲームやタレント発表に移りました。その中でとてもすばらしかったのはタレント発表のトップ

に支部長安田兄弟姉妹が肩を並べてコーラスを發表して下さったことです。そして会員も求道者もそこにモルモンのすばらしい御夫婦を見てあこがれと将来の希望を持つことが出来たに違いないと思います。又、残念なことに私はその時の支部長の御令息基ちゃんのお顔を拝見することが出来ませんでした。きつと誰かのひざの上でやさしいパパとママのすばらしいコーラスを聞きながら目を細めていたに違いないと思います。

もう一つは十二月七日、六時半からフェロースリップ委員会主催の讃美歌修理会が山地姉妹のお宅で開かれました。この集会に出席した人は全部で十名です。少ないようですがこれは日曜日、お仕事の都合で教会に出席できないような人たち、又その他特別に招待されるべき人たちが集まったの特別集会です。和気合々とした雰囲気の中で山地姉妹が用意して下さった食事をいただき讃美歌の修理に取りかかりました。仕事をしながらでもお話の上手な兄弟姉妹が多く山地姉妹の御家族がびっくりするんじゃないかしらと思われる位大きな声を出して笑い合ったりしました。普段あまりお話をしない兄弟も後でとても楽しかったと言っていましたからこの集会は大成

功だったようです。

そして又すばらしいニュース。それは先月近藤兄弟御夫妻にベビーが誕生したことをお知らせしましたが、今月は十二月一日第一副支部長の太田原兄弟姉妹に一度に二人のベビーが誕生したことです。それも何と未来の神権者と未来の扶助協会の会員なのです。つまり一度に男の子と女の子の二人も授けられたのです。私たちでさえ、こんなにうれしいのですから当のパパ、ママの気持は計り知れないくらいでしょうね。双児のモルモン・ベビーは伝道部でも初めてではないでしょうか。旭川支部はいつも冬になると寒いせいか求道者や集会の出席人数が少なくなります。そして全体的に沈み勝ですが、今年は明るいニュースが多いようです。どうか旭川支部が良く発展するように応援して下さいね。

よ　　り
　　だ　　支　　部
　　現　　在　　の　　心　　境　　で　　書　　き　　ま　　し　　た　　。　　で　　は　　各　　支　　部　　の　　皆　　さ　　ん　　良　　い　　お　　年　　を　　お　　迎　　え　　下　　さ　　い　　。

西　宮　支　部

「おめでとうございます」

この言葉が交されている新年　一九六五年、「おめでとうございます。」

この言葉が幾度となく交された一九六四年十一月二十一日

白い手袋のなかの、つぼみの白バラが小さくふるえる。

喜びは涙となって花嫁のほほをはしるそれを見守る御両親、兄弟姉妹の顔、顔、顔

すべての顔に喜びが一杯

高城卓哉兄弟、豊島潤子姉妹の御結婚式。

美しく、厳やかな式。

各支部の兄弟姉妹、大変寒くなりましたが、お元気で過ごしていらっしゃいますか。以上は先々月号でお知らせしました、ホット、ニュースです。

写真をごらん下さい、何とお幸せそうなお二人でしょう。

西宮支部での初めての結婚式とあって、支

部長以下、私たち兄弟姉妹は緊張と華やかな喜びでこの日を迎えました。

そしてこの日のために、畳は板張りに、古ぼけたふすまはグリーンのカーテンにと、わずか二日の間で変ってしまっただけです。この二日間の兄弟たちの働きぶりに、ただ、ただ驚くばかりでした。このようにして、美しい教会堂が建っていくのかと、何か身の引きしまる思いがします。

又、この新しい板張りで床で幾組かの幸せな家庭が生まれていく期待と喜びが満ちている今日この頃の西宮支部なのです。

(宮本姉妹記)



新潟支部

新年おめでとうございます。といっても、この支部日より、十二月に書いており、お読みになる兄弟姉妹は二月号でこれをごらんになるでしょうから、ちょっとピントがはずれているでしょうか。

いずれにせよ、昨年は大変な年でした。支部長のおけががようよう直り、群馬の兄弟姉妹と地区大会を楽しく終って二日目、六月十六日の地震がきたのです。あの時受けた全国の兄弟姉妹のはげましと、慰めは、新潟支部の会員たちが深く感銘したところです。

このところやつぎばやに素晴らしい計画を打ちだしているのが、柳田喬夫兄弟指導のMIAです。十一月二十六日の演説祭、十二月二十四日のクリスマス・パーティにおける演劇は、この支部としては、最初といってよいもおしです。ハリキリ会長さんの下で、支部の補助組織中では、一番活発だと思われまします。もともと彼にも弱点がございまして、すぐママのいる名古屋へ帰りたくなることです。名古屋の皆さん、彼の所属が新潟支部だということ、忘れないで下さいね。

クリスマス演劇の立役者、伊藤正利兄弟

(執事定員会会長、MIA副会長)は、レマン人予言者サミュエルにふんして大活躍、ときどきセリフがどこかへいつてしまったのですけども……。

MIAに負けじと、のしてきたのが日曜学校。会長新田則正兄弟(祭司)は、高校二年生。クラスで三番の力持ち。気はいたって、やさしい。彼の頭と、士師記十三章十六章の關係はありかなしか。副会長に、大学生の原兄弟、新年度から、クラス教師に支部長会から何人か入りそうで、うまくまとめられるか心配していますが、大丈夫、大丈夫。なお北海道から「聖徒の道」に彼の教師昇進を祝って、ハガキを下さった兄弟お元気ですか。さる十二月二十六日、祭司になって、彼は初めて(支部としては本年最後の)山本貞子姉妹にバプテスマをさづけました。

書記の仕事は目立たないけど、欠くことのできない、大切な教会のお仕事です。きっと天でも彼等とともに、御使いたちが仕事をなさっていることでしょう。支部長会の福島兄弟、MIAの菅井姉妹、扶助協会の斎藤姉妹そして日曜学校の猪又章子姉妹は、中学三年で高校受験準備のかたわら、頑張っているらしいです。

日曜学校といえば、坂野恭子姉妹が責任者の子供の日曜学校、寒いのにも多勢の子供たちが集まっています。沖縄や東京の子供たちとも、連絡があるようですね。坂野先生の感じは、本職の先生よりうまいんじゃないかって感じなのです。九時から始まる子供の日曜学校から、聖餐会の終るまでオルガン伴奏をして下さっているのが、佐藤寛子姉妹です。本当に御苦労様です。

終りに一番大切なことがくる(末日ですから)というわけですが、十二月十三日地方部評議員、児玉栄治兄弟の按手により、鈴木綾子、小林栄子両姉妹が、地方部宣教師に任命されました。お二人はMIAで、皆から親しまれております。山本姉妹が求道者の時「すぐく分りやすいレッスンでした。」といわれるくらいの実力を持っていられっしやいます。小林栄子姉妹「みかけはおとなしいけど、すごく活発」(本人がおっしゃいましたので、まぢがいございません)で、鈴木姉妹は「あの地震の時でも、聖書をはなさず、老人を助けて……」と、ある兄弟のお父さんを感じさせてました。

なお金沢支部よりウイルソン長老が、当支部からはクリーブランド長老が、各々入れか

わかりました。

では次の支部だよりをお楽しみに。

(T)

三 宮 支 部

愛する兄弟、姉妹お元気ですか。私たちも御国建設のためにがんばっています。今日はホットニュースをお知らせします。

十月三十一日(土)の五時頃、ある兄弟が私に「とうとう来るべき時が来ました」と、いいました。彼の名前は、新谷国昭兄弟です。その日の六時から、私たちの支部の熱心な姉妹である、宮本久子姉妹と山邑支部長司式、神尾兄弟司会のもとに、私たちの教会堂に於いて、挙行されました。式も無事終り、披露宴に入りました。たくさんの方の祝辞の合間に会員たちのコーラス、又、会員の中に新郎新婦が加わってのコーラス。このような光景は、モルモンの結婚式以外では見られませんでした。そして、祝電も多く来ていました。その中で特に、東京で建築宣教師として働いている中川弘志兄弟からの「ウメヨ ファセヨ チミテヨ ヒロシ。」の電文には、全ての人の心の中に、ほのぼのとしたものを持たせま

した。そして「私も早く結婚したいナ」というような声も聞こえそうな雰囲気の中に閉会されました。

十一月三日、文化の日に、支部では、扶助協会とフェローシップスクールの主催でバザーと楽しいゲームの会を行いました。姉妹たちは、このバザーに出品する作品を、仕事会の時、又、家で作りしました。フェルトの赤い花や白い花、美しい飾をつけたスリッパ、そして姉妹たちの日頃の腕前を御披露して美しく刺しゅうされた、エプロンやマクラカバーなど。ユーモラスなアイデアで作られた実用品が会場を華やかにいたしました。バザー開催前に、兄弟たちのご自慢の腕を借りて、ポスター等で宣伝したせいもあって、バザー当日は、会員は勿論のこと、ご近所の主婦たちも多勢お見えになって、品物は飛ぶように売れました。

お昼の食事のため、料理も数々作り、兄弟たちの間では「とてもおいしい」という好評でした。広い庭では、兄弟たちが、ゲームをして下さって、近所の人たち、お友だちで広い庭が小さくなった感じでした。扶助協会の姉妹たちは、今度の経験を生かして、次のバザーの時にはもっとすばらしいアイデアを考え

出してりっぱなものにしたいと抱負を、語って下さいました。又、フェローシップスクールも、このような会で、会員と求道者がいっそう仲良くなれた事を、心から感謝しています。

今月はこの辺で。皆様の上に豊かな祝福がありますように、又、御健康を祈りつつ…。

主の言は真理にして

およそ真理なるものはすべて光なり……………



訪問教師のメッセージ

「教義と聖約」にもとづいて実践する真理

メッセージ第62

1965年3月第1週

目的 真理の性質を説明し、常にそれを探求することの大切なことを示す。

世界の歴史を通じて、人間の最大な要求の一つは真理の探求でありました。真理は哲学者の動機であり詩人の原動力であり科学者への挑戦であり、すべての人の宗教的な切望であります。世界そしてその中にあるすべてのものが真理を土台として前進しております。それはすべての人生の存在、進歩の不動の根底であります。

教義と聖約八十四章からのこの引用に強調したように、救い主は真理と光を回復するためにこの世へまいりました。彼は私たちが歩むこの人生の道を照らし、私たちが永遠の生命を得るようにそして益々それを豊富にするように福音をもたらしたのであります。救い主の生涯は、光と真理の権化であります。彼は言いました。わたしは世の光である。わたしに従って来る者は、やみのうちを歩くことがなく、命の光をもつてであろう。(ヨハネ伝八・一二)

真理とは何でしょうか？ この問題は永年繰り返されて来ましたが私たちは現代の啓示によって、その回答を与えられております。

真理とは、事物の現在あるがまま、過去にありしまま、未来にあるがままの知識なり。

(教義と聖約九三・二四)

私たちの好きな讃美歌の一つに歌っております。

真理は人も神も 願ひ求む宝
行きて求めよ 深きに

また高き空にひかる。いととうとき希望この生涯で私たちの最も大切な精進は真理の深求と適用であります。回復された福音の根本的な原則は、人は先ず知識を得ることによって救われると云うことであります。知恵と知識は真理からもたらされます。真理は進歩をもたらします。それは幸福の土台であります。それは人の霊を完全な成長と発展に導く唯一の道であります。

真理に就て勇気づけられることの一つは、それがすべて私たちの身辺にあつて誰でも、熱心に求める者には何時でも得られるということであります。

数十年前も以前に嵐に逢つた荷物船が航路を失つてしまいました。船は非常に傷めつけられて、手のほどこしきょうもありませんでした。潮の波はその船を或見知らぬ灣に運びました。船中の飲料水は飲みつくされて水夫た

ちは渇に苦しめられました。彼らはその船が浮いている水は潮水だと思つて飲むとはしませんでした。遂に力つきた一人の水夫が仲間のとめるのも聞かないで船側にバケツを降ろして潮水だと思つていた水をなめて見ました。ところがそれは新鮮な冷い生命を与える水であつたので彼は驚喜しました。その船は実際には、大きな河口にあつてその周辺はみな真水であつたのでした。水夫たちはただ降り行つて皆が祈り求めていた新しい生命の力を受けたのであります。(ヨルダン・ウィリヤム・ジョージ自制七一頁)

この生命を与える水のように、真理も又すべて私たちの周辺にあるのです。もしも私たちが賢明であるなら、渴いた水夫たちのように真理に到達して、それを私たちの生命の一部とするでしょう。

救い主は言われました。また真理を知るであらう。そして真理は、あなたがたに自由を得させるであらう。(ヨハネ伝八・三二)

真理を知ることが私たちの罪と誘惑と恐怖から解放して自由にし、私たちの才能と個性を充分に展ばし榮えある祝福を受けることが出来ます。ジョセフ・エフ・スミス大管長は言いました。もしも貴方が真理を学び、真理

の光の内に歩むならば人の誤りと悪巧みから解放されて、疑惑とあらゆる悪行の上(届かない処の意)にあるでしょう。(福音の教義一〇頁)

真理がもたらす豊かな祝福を受ける為にはその真理を適用し、実行しなければなりません。リチャード・エル・エヴァンズ長老は言いました。真理を持つているだけでは食物を持つていただけと同様に何ら徳にはなりません。どちらも賢明にそれを用いるのでなければ、人を救えないでしょう。

確かに主の御言は真理であり、私たち彼の子供たちは常にそれを求めてそれを私たちの実生活に適用せねばなりません。

(92頁より)

三、教会の活動は証にどのような関係がありますか？

四、平信徒(一般會員)指導者を持つ、特に目立つた価値は何でしょうか？

五、父なる神と御子の一致は人間によつて達成出来るでしょうか。

参 考

教義と聖約 三十八章、四十二章
ジョン・エイ・ウィワオ編集、ブリガムヤング説教集 第七章

神権に関する啓示



神学「教義と聖約」

扶助協会レッスン

1965年3月第1週

目的 人が救いの計画及びその計画内の神権の地位を知り且つ理解する為に主がいろいろな方法を備えて下さったことを感謝する。

みたまに聴け

第八十四章の中ですべての人が永遠の生命なる言に心を留め神の国より出るすべての言によりて生きるように呼びかけられております（四三―四四節）それらは主の言は光であり、真理であり、この啓発はイエス・キリストのみたまからもたらされるものであることを思い起して居ります。（四五節）このみたまに聴く者は、御父の許に来る者であり、御父はこの者に誓約を教え真理の証を与えます。（四八節）けれどもキリストのみたまは、完全な真理を受け入れるように人々を準備させます。世に来るすべての人はそのみたまから光を受けるのであります。（教義と聖約八四・四六・八八・一一―一三）

すべての人が霊に於て神の子であるという理解をもって私たちは何故主がすべての彼の子供たちへ完全な真理へ導く指標を与えるかを認識することが出来ます。このみたまの機能と普遍性はジョージ・キユー・キャノン副管長によって次のように挙げられて居ります。

人に正義を行なうように訴えるものはみたまであります。異教徒もそれを持って居ります。この山中又は谷間にも正義を行なうようにささやくみたまの一端を持たないような退歩したインデアン人は居りません。メソジスト、バプチスト又末日聖徒たちキリスト教徒と同様にすべての異教徒に訴えて居ります。

地上何処に於ても人の住んでいる処にはこのみたまがその人の上にあるのです。それは神から来るものであります。それは人に正義を行なうように訴えます。それは悪魔の誘惑に抵抗させます。多少ともこのみたまが警告している限り人は悪を行なつたことがないのであります。(説教誌二六・一九一)

このみたまを福音の原則に従つて、按手札によつて受ける賜の聖霊と混同してはなりません。(使徒行伝五・三二、ヨハネ伝一四・一六―一七)

義人と悪人

すべての人が善悪を分別する主のみたまを多かれ少かれ持つていふと言う大切な真理に関連して知らねばならないことは、悪魔の誘惑に屈服することによつて罪が行なわれると云うことであります。誰でも或程度は罪の奴隷となつて居ります。ですから悔い改めねば

なりません。主はその子供たちが真理を完全な迄に受け入れることの必要なことを理解するように、望んで居ります。福音の原則と儀式に従ふことによつてイエス・キリストの贖いによつてのみ罪は赦されるのであります。イエス・キリストが定めた方法によつてイエス・キリストの許に來ない者は依然として罪の奴隷又は靈的死のきずなの下に留るのであります。他面イエス・キリストを受け入れた人は彼の神権を通じて義の状態である靈的生に來るのであります。ジョセフ・F・スミス大管長はこれを次のように述べました。

非常に残念なことですが、新しい永遠の誓約に従つたほんのわずかな人を除いて、今日の世のすべての人が靈的死の下にあるのです。彼らは神の面前から追放されているのです。彼らは神を知らずその福音をも知らないで、神なく福音の真理もなく赦される能力もないのであります。彼らが暮るように世を一面に覆うている靈的死から救われ、贖われる為には、彼らはその罪を悔い改めて、その罪を赦される為には権能ある人によつてバプテスマを受けねばなりません。そこで彼らは神に生れることが出来るのであります。(大会報告、一八九九年十月、七二頁)

聖徒たちの間の不信者

聖徒たちが靈的生に來たにもかかわらず、罪の為に聖霊の作用を失うことがあります。八十四章を受けた時、シオンの住民たちはモルモン経の啓示及び靈感された記事に必要な注意を払わなかつたのであります。この無視と不信の結果は、心の暗黒となりました。(五四―五六節) この懲しめから逃れる為には啓示の教えを單に口にするばかりでなく実行する状態をシオンにもたらしことです。(五七節) 悔い改めは彼らに益をもたらしませんが怠惰なる者は懲しめと審きを受けます。(五八節)

信ずる者にはしるしともなわん

この啓示で長老たちは、すべて福音の原則を受け入れて神の王国に來たる者は聖霊を受けるであらうと云う証を全世界に宣べ伝えるように指摘されたのであります(教義と聖約八四・六―二一六四)そこで主は信ずる者には、驚嘆すべき業、悪霊を追出し、病める者を医すなどいろいろなしるしがともなうであらうと啓示しました。(六五―七二節)

そのような祝福を受けた長老及び會員に、非常に大切な忠告が与えられました。

されど、われ彼らに一つの誠命を与う。す

なわちこれらのことを誇ることも、世の人々の前に語ることもなかれ。そはこれらは、汝らの益と救いとのために与えらるればなり。

(七三節)

すべての神権時代を通じて、イエス・キリストの教会に奇跡がありました。聖霊の賜の一つは奇蹟であります。それは福音の満ち足れる一部であります。多くの末日聖徒がこの祝福を受けていることを証しできるのでこのしるしのともなうことは末日聖徒たちによく知られて居ります。私たちは奇蹟（しるし）は真の教会の特長であると正しく言うことが出来ます。人は奇蹟によつて神の王国に救われるではありません。ブリガム・ヤング大管長は次のように言つて居ります。

末日聖徒及び救われる資格のある人、すべて聖霊に逆らう罪を犯した人を除いて、人はペテロと同様にイエスがキリストであることを知ることが出来ます。奇蹟はこの知識を人類に与えるものではありません。それは信ずる者の証を強める副次的な作用はしますけれども。イエスの奇蹟はユダヤ人も知つて居りましたが彼らは悪鬼につかれ人々を欺く者としてイエスを死につけたのであります。（説教誌一〇・一九三）

聖徒がその友人たちに、神を代表する真実のものとの偽ものの区別をどのようにして告げることが出来るでしょうか？ 癒しはイエス・キリストの福音の一部に過ぎません。福音の原則又は儀式の如何なるものにせよ単にその一つを取り立てて全部を判断すれば誤り得る又その組織がバプテスマのような儀式を持っているから真の教会であると信ずることも同様に偽りであります。真の教会を見分けるには次のように云うことが出来ます。イエス・キリストによつて教えられたすべての原則と儀式が一つの組織の内に結合されている時にそこに真の教会が存在するのであります。福音のすべての真理が教えられていない組織（機関）によつて癒しが行なわれていても、その組織は救いの能力を持つて居りません。キリストの福音の目的は日の光栄に高めることであります。福音の救いの原則と儀式を執行する権能がなければ昇栄の可能性はありません。

働く者はその値を得るに適わし

全世界が救いの教えを受けるべきであると云う誠命（教義と聖約八四・七五―七六）と共に、主はその僕たちに、彼の旧い友だちと同様に能力を以て福音を説くように勧告しました。（七七節）古代と同様に彼らは財布も

旅のふくろもなく全世界に向つて、働く者はその値を得るに適わしいことを証しするために遣わされたのであります。この任務を受けて忠実にその義務を果す者は心にも体にも疲れをおぼえることなく、又飢えることも渴くこともないでしょう。彼らは生活の糧に就て心配することはないのです。

野の百合の如何にして育つかを思え。勞せず、紡がざるなり。されど、この世の王国全盛の時だにも、その装いの花の一つにも如かず、天に在す汝らの父はこれらのものすべて汝らになくてならぬことを知りたもう。この故に明日のことは明日の憂うるに任せよ。（八二―八四節）

イエスが生きて伝道していた時に、山上の垂訓でその弟子たちに同様の勧告を与えて居ります。（マタイ伝六・二五―三四）或作家たちは世の中がこの勧告を採用したら、すべての積極性及び進歩性は停止するであろうと言つて、この垂訓を批判して居ります。この点に就てモルモン經の中で、この大陸で山上の垂訓が与えられた時にその意味が明確にされて居ります。復活した主は十二弟子に向つて、この勧告を与えました。それは世の為のものでありません。再びこの神権時代にこ

の勧告は、世のためのものではありません。それは伝道に召された者のためであつて、若し忠実であるならば、その約束は成就するのであります。ジョン・テラー大管長の次の証は、忠実な者に対する、この約束の成就を要約して居ります。

私は私の身辺に、財布又は旅のふくろもなく地上の民に福音を説くべく、あらゆる方面に旅行した多数の人を見て居ります。彼らは野、山を越え、砂漠や海や河や大洋を渡つて貴い永遠の生命の種子をたずさえて生ける神に頼つて前進したのであります。彼らが民によつて理解されなかつたことは事実であります。けれどもそれは事実を変更するものではありません。その弱さの故にへりくだつて行つた多くの者が喜びの内に自ら体得した永遠の生命の原則の勝利の栄冠として収穫の束を携えて戻つて来たのです。私は曾てこの教会の長老たちが人類の福祉に就て示したような無私の愛情が今日失われているとは思ひません。私は地上の諸民の間を福音を説いて数千哩も旅しました。私の身辺の兄弟たちも同様に致しました。私たちは食物、飲物、着物に不自由したでしょうか？ いいえ決して不自由しませんでした。神は彼の長老たちと共に

行つたのです。そして彼らは今日ここにあると同様にその民を集めたのであります。彼らは主の望み、全能者の人類家族に関する希望を達成することを求めて来たのであります。彼らは主の名に頼つて行くように、そうすれば主は彼らを見守り彼らの前に行き、みたまは彼らと共に行き天使は彼らに伴なうであらうと告げられたのであります。(説教誌、一四・一八九)

現状はどうでしょうか？ 末日聖徒たちは永年の間、財布と旅のふくろを携えて居ります。伝道の仕事を促進するため、又この実習にそわない法律があるため主は時の絶頂の場合と同様に、異つた定めをされたのであります。この変更に従つて、チャールズ・ダブリュ・ペンローズ副管長は次のように言いました。たしかに、私が世の人々の間に伝道した時には文字通り、財布又はふくろもなく、致しました。けれども今日、そうすべきであると私は申しません。私は状態が変れば主はそれに応じてその誠命を変えられると信じます。イエスは世に出て行く貴方たち多くの者に、旅に出る時に、財布にも袋にも、しんちゅうも金も銀も入れることなく又二枚の上衣をも持つて行くな。働く者は、その値を得るに適

わし」と教えました。そして彼は言いました。わたくしが財布も袋も持たせずにあなたがたをつかわしたとき、何かこまつたことがあつたか？」そこで彼らは「いいえ、何もありませんでした」と答えました。けれども今は彼はこのように言いました「しかし今は、財布のあるものは、それを持つて行け、つるぎのない者はそれを買うがよい。状態が變つたので言葉も變つたのであります。主が變つたのではありません。けれども状態が變つたので主の言葉も異つたのであります。ですから今日の状態は、その当時と非常に異つて居るのであります。(大会報告、一九二一年十月、一七頁)

預め何を言わんと憂うことなかれ
主は同様にこの神權時代の宣教師たちに、終始、生命の言を心に蓄えるように、そうすれば必要の時に當りて与えられるであらうと勧告して居ります。彼らは預め何を言わんと憂えないように命ぜられては居りますが、彼らは福音を教えるに必要な啓示を勤勉に学ぶべきであつたのであります。(教義と聖約八四・八五)宣教師たちは、世の人々のなせるすべての義しからざる行為を責め、また来るべき審判に就いて教え、たのであります

(八七節)

報酬と懲罰

主の僕を助けるすべての人は、その報いを受けない。他面主の宣教師を拒み、又は彼らに必要な物を備えてあげなかったら懲しめられるであります。 (教義と聖約八四・八八―九一) 主の言葉を拒んだ村或は市は懲しめられると宣言されましたが、メッセージを聴こうとする人々のために市や村の内を勉めて尋ねるべきであります (九二―九五節)

主の審きの時、世は主の僕を通じて主を受け入れる機会を持ったにもかかわらずそれを拒んだら予告されているように、民の上に罰として疫病がもたらされるであります。

(教義と聖約八四・九六―九七、六三・三二―三七、四五・二六―四四) この地は悪から清められ、その日にはすべての人が主が王の王であることを知るであります。彼らに律法を与える者としての彼を認め、そこに留った彼らは声を上げて八四章、九九節から一二節迄にある、新しい歌を歌うであります。

これらの節は福千年の状態を物語って居ります。主の再臨に備えて、今やこの地上にシオンが建てられつつあります。時が来ればシ

オンの市 (新エルサレム) が神の栄光に建てられるであります。救い主が来てこの地上に、彼の王国を建てる時、最初からその栄光の日を待っていた贖われた人たちの喜びは如何ばかりでしょうか。人の敵の頭である悪魔は、縛られるので力をふるうことは出来ません。約束された万物更新は (使徒行伝三・一九―二一) 人のために計画された、すべての約束と活動が集められる時に完成されるであります。エノクのシオンと末日のシオンは楽しく会するであります。 (モーセの著七・六二―六四)

その日には主は、この地上で彼の能力によつて贖われた人々の真中に立つてあります。そこで贖われた人たちは至高者に讃美の歌を歌うであります。

結論

八十四章を与えられた人々は、そこに宣教師の家族の世話すること又当時の小神権者が福音を説く準備をするように繰り返して命ぜられて、このことを理解すべきであります。

(一〇三―一〇八節)

各人皆自らの職務を守り、他人に向つて用ないと言ふことのないように大切な忠告が与えられて居ります。 (一〇九―一一〇節)

この神権の啓示に於て、教会組織に生命を与える神権を觀察して真のイエス・キリスト教会と宗教の死んだ形式との相違をしるして見ることも適切であります。八十四章の終りに於て教会の監督はアメリカ合衆国の或大きな都市に警告のメッセージを携えて行くように命ぜられて居ります。悪のコップが満たされた時主の能力が顕されるでしょう。そして彼はその民を治めるでしょう。 (一一―一二節)

考察のための質問

一、キリストのみたまは人々の生活の内に、どのように存在しますか？

二、奇蹟は真の教会の特長でしょうか、討議しなさい。

三、奇蹟 (例えば癒し) は教会外でも行われていることを知つて、教会の会員及びその非会員の友人は真の教会を調べるのにどのような方法を持っていますか。

四、働く者はその値を得るに適わし。とはどう云う意味ですか？

五、贖われた者によつて歌われる歌に於ける福千年の状態を出来るだけ多く挙げなさい。

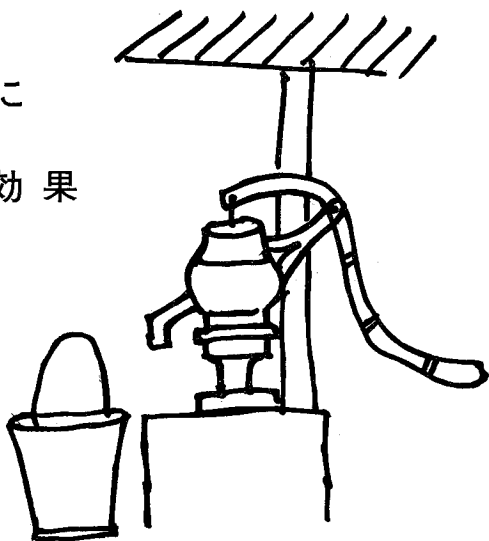
仕事の幸福に

及ぼす効果

仕事会

扶助協会レッスン

1965年3月第2週



仕事—これは何と安定した強い言葉でありましょうか。しかもこれは多くの意味を持っております。ある人にはそれは治療でありある人には完全な献身であります。ある人はそれを誇りとしますが又他の人には骨の折れることでもあります。すべての人にとってそれは生計の手段であります。

教授の家に寄宿している大学生が何か問題にぶつかった時に一生懸命になって床拭きをしていたら家の人は、彼女のなすままにさせておくべきだと知るでしょう。床を拭くことは彼女にとって治療であります。

キューリー夫人はラジウムの分離に八四七回失敗した後、夫に向って言いました。もし、これが百年もかかるなら悲壮なことでしょう、けれども私は生きている限り働らくことを止めないでしょう。彼女の仕事は、奉獻の模範でした。

素晴らしいスイスの移民でもう七十代も半ばを過ぎたおばあさんが数家族のためによくアイロンをかけて居りましたが、人々がその働らきを褒めると、どうしてですか？ これは私の仕事です。と答えました。彼女にとって仕事は誇りでした。

小さな子供が仕事に対する考えを問われた時に、何でも私がしなければならぬことは仕事で、何でも私がしたいことは遊びです。と答えました。この年頃の子供にとっては、仕事はつらいことのようにです。仕事は喜びであり愛の勤労でなければなりません。そしてそれは完成させる、上手にする、成功させる意識を伴わねばなりません。そしてその産物は、旺盛な食欲であり、夜の熟睡であり、ぐっすりいだ時の完全な喜びであります。

伝道のおしひろめると、働らくに時があり遊ぶに時がある。

(伝道の書三・一―八参照) そしてそれぞれ適切な秩序に従うことが大いにその人を幸福にするのであります。ジェー・エドガー・フーヴァーは曾て、この国の一つの大きな問題は若い人も又その両親も共にこの二つを混同している為に、生じているのです。若い人は今遊んで後で時間があったら働らこうとします。両親は今買つて後で働いて払おうとします。どちらにも不幸に導くのであります。

私たちは欲すると否とにかかわらず働らきそして完成する迄働らきつづけることを学ばねばなりません。

予定、家族会議、カレンダー、表、一日の計画、割り当てなどはすべて家庭内でこの仕事を完成させる手段であります。婦人は彼女が若し期起きて朝の内に先ず為さねばならない仕事を為す時に、その日一日が最も効果的に進行することはよく知って居ります。朝が過ぎてしまつて残された仕事はなかなかほかから恐らく為されないで終つてしまうのであります。最大なる幸福は先ず仕事をして、その後に快樂が伴うのであります。

適切な時に働らくことを学ぶ外に最も効果的な手段と正しい道具を以て適切な方法で働らくことを学ばねばなりません。すべての家

庭を営む人が経験によつて彼ら独特の方法を以て働らいて居ります。しかも彼らは新しい早速又推奨すべき方法を見出すべきであります。そして実験してそれが秀れておれば説明を加えるべきであります。

家族の者が共に喜んで働らくことを学んだ家庭は幸福であります。両親は若しその仕事に幸福な模範を示さず、又最も教えるのによい時期である幼少の頃に仕事を分担させてその喜びを味わせてあげなければ子供を欺くことになります。又年令の如何にかかわらず努力し完遂することが大切であります。

子供たちは生れながらにして如何に遊ぶべきかを知つて居りますが働らくことは教えられねばなりません。この教授課程は正式なクラスで教える場合と同様に注意深く辛抱強く堅実に愛を以てなされねばなりません。ここに従うべき四つの段階があります。

(一) 仕事を定義して、正しく何が期待されているかを説明する。

(二) 子供がその行程を知る迄共に働らく。終つた仕事が確かに標準にふさわしいか查べる。

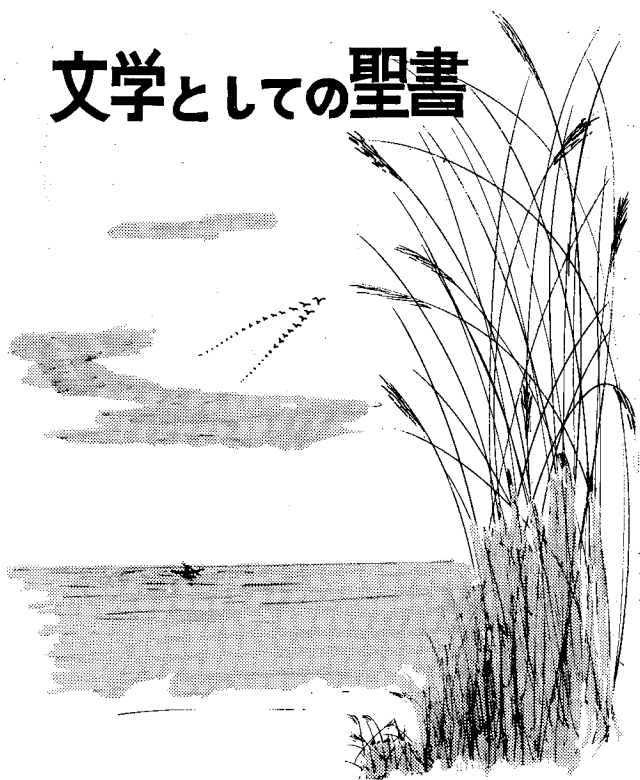
(四) 一度それを認めたら、子供のしたことに手を加えないでそのまましておく。

成人及び子供たちの多くの不幸及び仕事上の欲求不満はこれらの四つの段階を守らない結果であります。

六日のあいだ働いて、と主が言つた十戒の当時から主はその民に働らくように命じて居ります。使徒パウロはテサロニケの聖徒たちに書いております。あなたがたに命じておいたように……手ずから働きなさい。(テサロニケ前書四・一一) モルモン経のニーフアイはその民に勉め励ませ、また手を働かせて仕事をさせた。(ニーフアイ第二書五・一七)

教会の早期に主は再びジョセフ・スミスを通じて命じました。汝ら出で行きひまどることもなく怠ることもなくして、全力を尽して働くはわが意なり。(教義と聖約七五・三二) 私たちの今日の予言者、デビット・オー・マッケイ大管長は言いました。仕事は幸福をもたらしますが、その仕事を開設した人にはその幸福は倍加されます。

文学としての聖書



第6課 聖書にあらわれた詩

扶助協会レッスン・文学

1965年3月 第3回目の集りに

目的―聖書にあらわれた詩の文学としての優秀性を示すと共に、その詩型のいくつかを考えること。

「あれほど短い場所にあれほどすぐれた詩情を盛り込んでいる文学は聖書のほかにわずかしかない」。聖書の詩がもっている文学上の価値を完全に鑑賞するためには、ヨブ、イザヤ、エレミヤと言ふような書を集中的に研究しなくてはならないでしょう。この短い考察では聖書の詩に文学上の価値を与えるいくつかの特性を示し、また聖書が詩的表現の庫であることを強調することくらいが関の山です。聖書の詩は深い同情をあらわしています。聖書の詩は古今東西だれにとっても真実である経験と感情とをとりあつかい、いたるところの人間の心を感動させています。

聖書の詩の多く、とくに詩篇は自然によって靈感を得ています。また聖書の詩人はいきいきとして、真にせまった言葉を使っています。聖書の詩人はもろもろの丘を人間に見立てて、それ

らの丘に「びよんびよん飛んで拍手」をさせています。また「風のつばさに乗りたもう」

全能のエホバが、声を出して「地をふるえさせ」指を觸れて「山々から煙を出させたもう」と描写しています。また何度も作り直さずに書いて、最も深遠な真理と最も深い感情とを、簡潔にしかも力強く表現しています。

たとえば聖書の詩篇は、どのような能力のある人々にも適しています。詩篇は読んでたやすく意味がわかりますが、汲（く）めども尽きぬ深いところがあります。聖書の詩の美しさは、わたくしたちのまわりにある世界を描写しているところにあります。聖書の詩の中で「全宇宙は生けるものの巨大な合唱となり……あらゆる小川のさざめきも、耳を喜ばせるしぶきの音も、あらゆる清らかな音は神をほめる歌のしらべである」。

それで、聖書の詩のもついちじるしい特性は、その中にある神の啓示であります。「神の啓示」は、主として神をほめたたえる歌である叙情詩から、偉大な英雄の行いを示しているのではなくて「この世にあらわれている神のなさり方を怪しみ、その真意を解く、苦悶しているなやみの英雄を示す」偉大な叙事詩劇であるヨブに至るまで、あらゆる詩の形式

にあるテーマであります。

詩人にとってエホバは万物のつくり主であり、万物を保持するお方であります。エホバは大空にかがやき雷雨に駕（の）り、野のゆりに衣をきせ、からすや獅子に食を与え、雨をふらせ、みのり豊かな季節を与えたもうエホバは、イスラエルにとり永久の盾であり慰さめであり、喜びであります。ある筆者は聖書の詩をほかの詩と区別する三つの大きな性質を次のように挙げています。それは(一)自然に対する純粹な愛 (二)聖らかな美に対する熱情的な感覚 (三)神（の在りたもう）を強烈に喜ぶこと、の三つであります。

「詩篇」

昔の詩篇作者がその手にたて琴をもって、天の広大さと夜の神秘と砂漠の強烈な熱さとあらしの荘嚴なことを冥想し、これらの自然現象から万物のつくり主エホバの告げたまうみことばを読みとっている様を、想像してください。詩的の想像がこの詩人の心の底にある情緒をかき立てたので、彼は詩篇の第二十三篇にあるようなきわめて美しい表現をほとばしり出させたのであります。二三詩篇の中から抜いて示しますが、これによって読者の方々は、詩篇がどんなに豊かな詩の文学の

豊庫であるかを改めて知ることでしょう。

「主のみ声は水の上にあり、

栄光の神は雷をとどろかせ、

主は大水の上に居られる。

主のみ声は力があり、

主のみ声は威嚴がある。

主のみ声は香柏を折りくだき、

主はレバノンの香柏を折りくだかれる」

(詩篇二十九〇三一五)

「主はわが岩、わが城、わたしを救う者、

わが神、わがよりたのむ岩」

(詩篇十八〇二)

「神よ、しがが谷川をしたいあえぐように、
わがたましいもあなたをしたいあえぐ」

(詩篇四十二〇一)

その倫理的情緒の烈しさが目立っている詩篇第二十三篇や四十二篇のような詩の多くに見られる靈感は、砂漠のうつ荘嚴と神秘からきたのであって、ほかの文学では見出すことのできない叙情詩的性質をもっています。

詩篇におさめられている数々の詩は、多くの偉大な人々が言いたいと思っても、自分のことばで適切に言いあらわすことのできなかったことを、その人々にかわって言いあらわして多くの偉大な人々のために役立って居り

ます。

英國のエリザベス女王（一世）が、英國の王座につくはざであることを知ったとき詩篇第百十八篇の第二十三節にある「これは主のなされた事である」という聖句を引用しました。またオックスフォード大学の標語は詩篇第二十七篇の最初にある「主はわたしの光、わたしの救いだ。わたしはだれを恐れよう。主はわたしの命のとりでだ。わたしはだれをおじ恐れよう」という聖句です。

「予言者たちの詩——叙事詩」

聖書の中には、詩篇の作者たちよりもっと偉大な聖書の詩人の群が別にあります。すぐれた詩人予言者たちの中でも、イザヤ、エレミヤ、アモス、ヨエル等は最も目立つてすぐれた人々です。これらの人々は、わたくしたちの時代と大へんよく似ている、自分たちの国の危険がきわめてひどかった時代に生きていました。これらの人々は詩人であるばかりでなく詩人政治家でもあって、侵略者たちが母国にむかって進軍してくる様を予見することができました。これらの人々は恐ろしくさげすみもしくは悲嘆のうちにその声を挙げましたが、「彼らの叫びには常に昔の単純な生活と宗教に返れという呼び声があった。常にそ

れは、新しい享樂が男らしさを徐々に弱らせ、新しい主義が本当の価値を忘れさせるといけないから、町の人々にそのやり方を直せと叫ぶ砂漠の呼び声である」。

次に挙げる一例は、今日世界の各部分に起っていることを描写しているかも知れませんが。

「彼らは町にとび入り、城壁の上を走り、家々によじのぼり、盗びとのように窓から入る。

地は彼らの前におののき、天はふるい、日も月も暗くなり、星はその光を失う」

（ヨエル書二〇九・十）

予言者たちの詩はひとりずさまじい緊張のもとにある民族の心にひそむ情緒を言いあらわしているばかりでなく、またユダヤ民族の變つて行く伝統についても解説をほどこして居ます。この予言者たちは、もともと必らずしも將來起ることをあらかじめ語る人々であるというわけではなくて、イスラエル人の注意をその使命とその危険とに喚起する、靈感によって神の声を語る人々でありました。これらの予言者の語る散文的な（単調な話しぶりの）説教が、とつ然とぎれてしばしば叙事詩的な話しぶりに變ることが度々あります。

叙事詩とは、劇の要素をそなえた叙情詩的作品の中の特種な型式であります。それは詩と音楽との要素をかね具えた、生き生きとした靈的の話しぶりであって、そのよい例はイザヤ書に見ることが出来ます。イザヤ書の終りの方の二十六章は、ひじょうに完全な意味での叙事詩から成り立っています。そして、そのうちの何章かはまったく靈劇であります。

モーセ、サムエル、サウル、ダビデ等は、みな各自の確信を言いあらわす勇氣のあつた予言者である詩人でした。ナタンとエライシャとはその他の人々であります。「予言者はみなその神聖な言伝をもつて国の隅々まで行き、彼に与えられた神の言葉を叫ぶのが常であつた。予言者が『主はかく言いたもう』と言うことは、王座のある部屋や評議の行なわれる室から、どこでも人々の集まるところなら市場や神殿の中にいたるまでいつも聞えていた」。

聖書批評家は次のように言っています。「聖書の予言の書のように愛國的動機、詩と未來像という強く感情に訴える心の中の姿、危機に面している祖国の政治的道德復興の推進などを兼ねそなえている文学はほかにない」と。聖書の中の詩人予言者たちは、やもめと父な

き兒らには公平な（とりあつかい）を、貧しい人々には兄弟愛を与えよと力説する社会改良家であり、神に仕えるに当って不忠実をゆるさない聖職者であって、異教崇拜と享樂の新しいならわしに反対を声明し、なやみの時に民をなぐさめる者であります。

「ことわざ」

聖書批評家の中には「ことわざ」を詩の中に入れて人もあり、散文の中に入れて人もあります。しかし「ことわざ」は、すくなくとも詩的散文と呼んでもよいでしょう。聖書の中の「しん言」は、人生の觀察にもとづいた格言の集成であって、人間性をはつきりあらわして居り、昔のユダヤ人もわたくしたちとそっくりであったことを示しています。「しん言」の中の格言は人生を安全にわたる指標であって、その中に含まれている知恵は先の先まで見通しています。ある解説者は言っています「しん言の中には、現代の自動車のごが悪いかは言っていない。当時このような機関は知られていなかったからである……しかし、しん言は自動車を安全に運転する方法を教えている」と。「しん言」は教育、家族関係、職業、自制、社会の中での一般的なふるまいなどについて忠告を与え、中庸

の哲学を教え、また次の引用句から解るように、多くの時代にわたってつみ重ねられた知識をあらわしています。

「なまけ者よ、ありのところへ行き、そのすることを覚えて知恵を得よ」（六〇六）

「柔いことばは憤りをとどめ、はげしいことばは怒りを引き起す」（一五〇一）

「友はいずれの時にも愛する」（一七〇一七）

「おろかな者もだまっている時には知恵ある者と思われ、そのくちびるを閉じている時は、さとき者と思われる」（一七〇二八）。またちよつとユーモアのある「格言」（ことわざ）も多くあります。たとえば、

「争いを好む女と一しよに家におるよりは、屋根のすみに居る方がよい」（二五〇二四）

「争い怒る女と共に居るよりは、荒野に住む方がましだ」（二一〇一九）がそれです。

聖書のいたるところに多くの種類の詩が点在していますが、またヨブ、詩篇、「しん言」ソロモンの雅歌、哀歌のように完全な書のかたちをそなえているものもいくつかあります。これらの中で最も偉大なのはヨブであります。ヨブはユダヤ文学のうちで最も壮大な

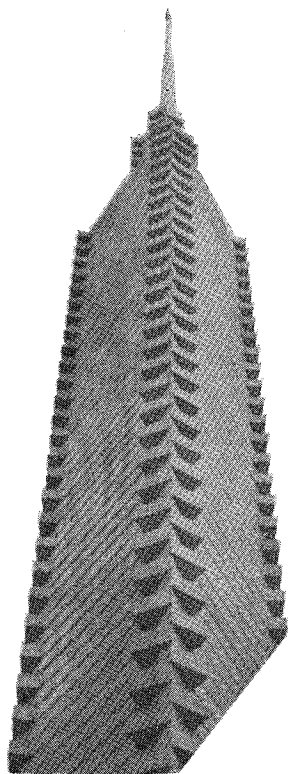
作品であって、また世界の文学の中でも最も偉大な詩の一つであります。正しく取扱おうとするならば、レッスンの全部を費さなくてはならぬでしょう。これと同じことがソロモンの雅歌についても言えます。これは純潔と貞節について健全な教訓を与える偉大な愛の歌であって、或る批評家たちによれば、深い象徴的の意味があります。「しん言」は簡潔な格言でユダヤ民族の経験の結晶したものです。そして、聖書の中の叙事詩は散文の説教の中に度々挿入してある詩の要素をそなえた靈劇であります。まとめて言えば、聖書の詩は永遠の美しい靈感であります。

「レッスンの助け」

(一) いくつかのすぐれた詩篇の詩を選んで読みなさい。これらを一篇の文学として、そのテーマ、文体、背景等を論じなさい。次にあげるのは、その美しさが目立っている多くの詩篇の詩の中から選んだいくつかです。詩篇一八、一五、一九、二四、二七、三〇、一八、三二、二〇、一七、三十三、三十四、三十七、一十九、三十九、四十、四十二、四十六、五十一、六十二、九十二、百二。

(二) 今日の状態にとくに適している詩篇の詩、「しん言」の中の格言のいくつかを暗誦しなさい。

神の律法と教会制度



第十九課 教会活動の価値

扶助協会 レッスン

一九六五年三月第四週

社会科学

目的 教会内の活動は、完全な生涯に本質的

なものであることを示す。

人間は単に自身の知的肉体的改善をするばかりでなく隣人の状態をも改善し毎日の生活に積極的に善いことをして進歩するように、創造主に期待されております。(ブリガム・

ヤング説教集九・一九〇)

基礎的啓学

宗教活動は教会内に極限されるものではありません。教会活動はすべての人間としての行動に常にイエス・キリストの教えを適用することにあります。

イエス・キリストは全人類を創造者の前に連れ戻す。御父の御業にたずさわっておりました。彼の生涯は人の子たちへの絶えざる奉仕でありました。彼はあらゆる方面から人を選んで、彼を手伝わせ、彼の組織を通じて彼の教えを受入れた出来るだけ多くの人に奉仕の機会を拡張したのであります。

正式な組織の観点から主は教会々員たちに

無制限の奉仕の機会を用意しております。ある割り当ては小さい職ですが全体的な計画の機能を成功に導くために、すべて同様に重要であります。

救い主は彼の活動を教会組織の正式な機能にのみ制限しませんでした。いづどこでも機会がもたらされれば苦しむ者を救い、人々を幸福にし、彼らの信仰を義としました。キリストは進んで奉仕しました。彼は、ただ聞く者とならないで実行する者となれ、の引用を思い起させる模範を示しました。

福音の精神は、愛と信仰と純潔に培われた奉仕であります。教会組織の効果的な機能は会員の参加にかかっております。信仰の成長するのは活動的な会員であります。教会のための伝道の働かしからもたらされる真の喜びと満足は主の仕事に完全に捧げることから出来るのであります。伝道地に於ける宣教師の日々の瞬間々々が他人の福祉を進歩に彼自身を惜し気もなく捧げて救いの計画に献身することであります。すべての会員が宣教師の伝道に対すると同様の熱意を以て私たちの教えのすべての真理を表して福音の原則を実行するように挑戦されております。

教会の奉仕は単に割り当てられたことをす

るとかあるいはある人にあることをすると言うこと以上を意味して居ります。奉仕の根本は救い主によって示されたような心の持ち方であり、それは多くの表現の面を持っており、その内に

(一) 自発的に善をなそうとする希望。

(二) 報酬を考えずに好んで善行を為す。

(三) 他人の福祉を考える。

(四) 王国の建設を助ける。

このような奉仕の主な意味は人の心の中に平和をもたらすことであります。この光の中に奉仕は人類への祝福となるのであります。

活動と霊的成長

私たちの教会の指導者は、イエス・キリスト教会の役員たちは、二つの明確な目知のために召されていることを指摘しております。

先ず第一に人々への奉仕、第二に責任ある地位に誠実に奉仕することによってもたらされる個人的な成長と、理解を深めることであります。教会に在って役職に奉仕出来るということはほまれある特権であると共に個人的な利益でもあります。そしてどんな職であろうとも、感謝の念を以て受入れすべきであります。

上述しましたように教会の職は、奉仕への

召しであります。よく私たちは人々が、私はそんな大きな責任はとても果せません。と言う声を聞きます。控え目にへりくだることはよいことであります。けれども、私は最善を尽します。と言う方が、もっとよい態度であり、正しいのであります。

最善を尽すことは次のことを含みます。

(一) 謙譲、神のみたまの助けを受けるためには人は謙遜でなければなりません。教会内のすべての召しに在って人はその召しは主の御業であって、彼は主のみたまに調和して働らくことによってのみ、その召しを効果的にすることが出来るのであります。

祈りは神に通じる手段であり、聖霊は啓発と理解の根源であります。

(二) 働らき、人がその祝福されている英知を用いて、その義務を果たすために、長く困難な準備に進んで働らこうとすることが必要であります。

一人の非常に成功した発明家は天才と言われる彼の才能の九十九パーセントは汗でパーセントは靈感であると観察しております。

つまり人は如何なる召しに住っても、それを成功させられるだけの容易ならぬ働らぎと勢力即ちその代価を進んで支払う者でなければなら

りません。

(三) 熱意、人はその割り当てられた任務に対し熱意を持たねばなりません。末日聖徒イエス・キリスト教会の会員はすべて熱心な会員でなければなりません。この末日に於ける偉大な運動の一部に任命されることは劃期的なことであり大いなる機会であります。この教会の役職にあるすべての人は特にこの回復された福音の神性の証人であります。

価値あること、人は召しを受けるに足るだけの価値がなければならぬと云うことははっきりしております。価値はその人に就て次の諸項目を観察することによって評価されます。

a 教会の重要な集会に正しく定期的に出席するかどうか？

b 祈りを信じ且定期的に実施しているかどうか？

c 什分の一、及び断食献金を正しく納めているかどうか？

d 貞節の律法を守っているかどうか？

e 主に油を注がれた人を含めて予言者を支持しているかどうか？

f 知恵の言葉の真の価値を知って、実行しているかどうか？

g 主の休日尊重しているかどうか？

h 主の御業完遂のために献身していることを示しているかどうか？

この他にも基準があるかも知れませんが、これらがこの教会内の役職に就く人々に必要とされるよい模範であります。

それですから誰でも福音の真実性に就て証を持ち、正しい権能者を通じて召しを受けようとし、前述提案の代価を支払おうとする者はこの教会で如何なる役職に召されても成功するであります。この教会で奉仕の機会を受け入れることによって人は知的に靈的に進歩せずにはいられません。献身的な奉仕の主な報いは父なる神と御子イエス・キリストの實在に就ての個人的な確信の増大であります。

団体の効果

全般的な人類の福祉の増進に献身する二百五十人からの働き手を持った教会の各ワード部の潜在力を考える時、実に心を動かされます。若しもワード部内の各人が上述の基準の資格を完全に持ったら、そのような団体の影響力は社会全体の標準と価値に好い効果をもたらすことが出来ます。(十八章参照)

この地上に神の王国を建てるためには、各

会員の側に本教課の前の方に提案したと同等又はそれ以上の実行が必要とされるのであります。王国の建設を物質的方面から見ならば自然の産物を効果的に用いることであります。けれども人間的な立場から見ならばその挑戦は遙かに大きいのであります。それはこの世の人々にイエス・キリストによって教えられた生き方は効果的、生産的な生き方であると言ふ確信を持たさねばならないのであります。

これを完成するにはその人々の心を動かさねばならず、その動かすものは愛と理解であります。それにはその日常生活に於て福音の効果を現わすことの出来る神の力によって導かれた男女の軍勢を必要とするのであります

奉仕への召し

目下の任務を充たすだけの働らき手の軍勢をつくるのに少くとも二つのなされねばならないことがあります。第一は会員の間に進んで教会の役職を引き受ける態度を發展させることであります。すべての会員が何時、どのような資格に於ても、何ら臆するところなく進んで奉仕すると云う確信を持たねばなりません。これは主の御業であり、私たちは主を待たせるようなことがあつてはなりません。こ

の態度は主として家庭でつくられます。

第二に人は、正しく権能を持った人によってその職に召されねばなりません。

。われらは、福音を宣べ、且つその儀式を執り行うためには、啓示と、權威ある者の按手により、神によりてその任に召されねばならぬことを信ず。(信仰簡条第五条)

去年の教課で私たちは人が奉仕に召されるための大切な方法に就て指摘しました。監督ステーク部長又は教会幹部は資格があるかどうか調べるため、当人と面接し、その指導性を認め、一方その人が割り当てられる組織の責任者は、その召しの特別な義務のために彼を訓練するのであります。

奉仕に召されることは新会員及び信仰の弱い者に対して治療的な価値を持っております。注意深く選んだ奉仕の役割に彼らを任命して励ますべきであります。先ず小さな責任が与えられるなら、その人は確信を展ばし、他人に何か奉仕していることから、もたらされる心の暖さを受けます。彼はこのように必要とされていると云うことから、もたらされる個人的な刺激、彼がその組織の成功的な運営に本質的に必要なものであるという感じを受けます。

神権と補助組織活動

末日聖徒イエス・キリスト教会の指導の責任は神権の上にあります。すべての会員の知的、霊的、物質的福祉を向上させるために教会は、常にいろいろな組織を加えて、福音の内に訓練し、人間のいろいろな必要に応え、同時に多くの会員に指導者たる機会を与えているのであります。これらの補助又は補助組織は常に神権に責任をとります。神権は教会組織の原動力でありますが補助組織の仕事や活動で費されている多くの勢力が女性からもたらされております。

今日。曾て見られなかった程、教会の指導者は、すべての教会活動を神権と調整するために、大きな努力を払って居ります。何年も補助組織で働いた価値ある仕事の経験が多くの人をして社会の各層のいろいろな活動方面で国家的に認められた指導者にまで発展させたのであります。神権の指導下にこれらの人は重複しないように年令層に応じて補助組織計画を立て各年令層に応じた本質的な教会の教えを強調して来たのであります。神権の調整は単に神学を学ぶことだけでなく、人間社交のすべての方面に対する宗教的な教えに関することを含んでいるのであります。

汝らひとつとなれ

教会活動の価値を論ずるに当って私たちは、価値、と言う言葉に二重の意味があることを認めねばなりません。

(一)既に指摘したように個人的な観点からの価値は無限であります。

(二)全体的に教会に対する活動の価値は極めて重要であります。

イエスは常に弟子たちに奉仕の重要性に就て指摘しております。ペテロに彼は言いました。あなたはわたしを愛するか、わたしの羊を飼いなさい。旧い又新しい聖典で彼は言いました。汝らもしわれを愛すれば、われに仕えわがすべての誠命を守るべきなり。

(教義と聖約、四二・二九 又ヨハネ伝一四・一五—二一参照)

私たちは如何にして神に仕え又は神を愛することが出来るでしょうか？ ただ神の子どもたちを愛し彼らに奉仕することです。キリストの使命、全体的な目的は人類の復活と昇栄であります。これはイエス・キリストの弟子各人の不断的努力によつてもたらされます。

それは瞬間又は一日又は一年にして達成されるものでなく又単に安息日の活動のみによつて完成されるものでもありません。それは人

々が利己心に打克って食欲を抑制し、宗教の理想の光の内に毎日の任務を遂行する時に完成されるのであります。

キリストの使命を達成するにはすべての会員が、その時間と才能及びその他のものを王国の建設と人々の心の内に義を打ち建てるために捧げ、全財産献納法によつて生活せねばなりません。

教会内に於ける活動は貴方の友人に対する奉仕を意味しております。すべての人がその兄弟を自分自身のように見なすべきであります。(教義と聖約三八・二四—二五) 何となれば、またお前たちが同胞のために務めるのは、ただお前たちの神のために務めるのである。(モーサヤ二・一七) 奉仕は愛を生み、愛は一致を生み、一致は人の心に平和をもたらしめます。汝らひとつとなれ。もしひとつとならずば、汝らはわがものにあらざ。(教義と聖約三八・二七)

考察のための考え

一、奉仕は救いに如何に本質的なものでしょうか？

二、イエスはどの程度迄奉仕したでしょうか？

(77頁へつづく)

神 権

旭川 正勝 (執)
 高橋 正勝 (執)
 阿倍野 ヤノ ヨシタカ (祭)
 ヤノ ヨシアキ (祭)
 ヒラマツ ヨシハル (祭)
 イワネ タケシ (執)
 モリタ トオル (執)
 ナンバ マサユキ (執)
 岡町 オサム (執)
 オザキ ヒロユキ (執)
 カワニシ ヤスヒロ (執)
 シンバタ トシオ (執)
 金沢 トシオ (執)
 丸谷 憲治 (執)
 野村 友近 (執)
 富田 勝治 (執)
 船田 和夫 (執)
 室蘭 光男 (執)
 菅野 文雄 (執)
 東京中央 文雄 (執)
 横山 勝利 (執)
 根本 勝利 (執)
 佐川 光徳 (執)
 上野 邦夫 (執)

鈴木 克弘 (教)
 横濱 タカユキ (執)
 クマキ セイジ (祭)
 サイトウ セイジ (祭)
 森島 道朗 (祭)
 アオヤギ コウイチ (祭)
 イケガミ コウゾウ (執)
 サイウチ ナオヒサ (執)
 コスゲ ヤスオ (執)
 フクチ マサジ (執)
 松本 (執)
 ヒラバヤシ サダオ (祭)
 ハヤシ ヨシヒコ (祭)
 ヒラサワ マサヒサ (執)
 ザマ アキヒロ (執)
 カミヤマ ヒデオ (祭)
 小樽 (祭)
 ヤマガミ ヒデアキ (祭)
 ヤクシ キヨウイチ (教)
 フジタ イサオ (長)
 京都 (長)
 マスダ タケヒコ (執)
 中山 世一 (執)
 シンドウ タツミ (執)
 渡辺 速雄 (執)
 山形 (執)
 タカハシ アキラ (執)
 オオキ マコト (祭)
 室蘭 (祭)
 ヒロツ ハジメ (教)

仙地 嘉昭 (執)
 菊地 宗久 (執)
 鬼藤 真久 (執)
 斎藤 隆保 (執)
 佐藤 憲治 (祭)
 阿部 俊雄 (祭)
 堂前 豊雄 (祭)
 三宮 (祭)
 名取 (祭)
 イナガキ アツカズ (教)
 フクイ ハルオ (教)
 イナガキ ユキマサ (教)
 イシハラ ショウジ (執)
 ウメハラ タカシ (祭)
 札幌 (祭)
 中田 和彦 (祭)
 西岡 隆義 (教)
 五十嵐 勝彦 (執)
 長谷部 耕一郎 (執)
 高杉 保夫 (長)
 東京東 (長)
 シンバタ トモオ (祭)
 ホツタ サチオ (祭)
 アリサワ ヨシヤス (教)
 ナカダ ヨシユキ (執)
 ナカジマ ヒデアキ (執)
 オオシマ ヨシカズ (教)
 タキゲチ ミノル (執)
 東京北 (執)
 オリモト カズノリ (執)

サトウ ヒロミ (教)
 万博 宏行 (教)
 豊増 一郎 (教)
 辰己 毅彦 (祭)
 柴田 正彦 (執)
 中村 達夫 (執)
 望月 良夫 (執)
 川崎 幹雄 (執)
 岩垣 達雄 (執)
 稲垣 達雄 (執)
 荒川 淳二 (執)
 シマダ センキチ (教)
 倉田 市郎 (教)
 東京西 (教)
 奥野 義哉 (教)
 岸野 陽哉 (教)
 斎藤 優 (祭)
 那覇 (祭)
 ヒガ エイチキ (祭)



十一月二十八、九日の沖縄地方部大会に出席させて頂きました。

戦前までは沖縄県といって確かに日本の一部として存在していた筈の彼の地が、今行ってみると道路を走る車は右側通行、通貨はドル道路標識にも英語が用いられて何か外国へ行った感じがしました。

太陽の近さ、光の明るさ、十一月末というのに大会々場では扇風機を使う暖かさ、というよりむしろ蒸し暑さに、初めて訪れた私は驚くことばかり。名古屋を発って五十三時間、正に「遙けくも来つるもの」と痛感しました。しかし、そこで逢った兄弟姉妹は日本中の何処の兄弟姉妹とも何も変ることなく、やはり互に信頼し、忠実勤勉

に働く、笑顔を忘れないモルモン顔の人たちばかりでした。

ひめゆりの塔、健児の塔などで知られる南部の戦跡には、悲惨な戦争の跡、悲壮ゆえに一層哀れな物語を生々しく思い出させる数々の岩穴等が今も尚黒潮の岸近く無気味に口を開いていましたが、中心地那覇には慈悲深い天のお父様の福音が根を下し、内地から遠く離れて孤立しそうな離れ島であっても、そこには暖かい愛と明るい希望が育っていました。生々しい苦しみを受けた者こそ恵みに対しての感受性も強められているのかもしれない。いくつもの米軍基地を擁している沖縄にはアメリカのモルモン会員も多く、教会堂建築には特に彼等の援助も大きいとの事でした。教会堂はホールの屋根もふけて東京西や北よりも大きいという立派なものが出来かけて居り、沖縄出身の五人の建築宣教師たちがラーセン監督を中心に力強く働いて居りました。

古い方々は御存知の数年前副伝道部長をされていたウエタカ長老と、その奥様になられた曾ての宣教師ハグ姉妹も銀行の副支店長夫妻として基地の集合に出席されていらっしゃいました。「忠実なモルモンはこの世にあっても有用な人物であり、社会的にも成功し、よき働き手として尊敬を受ける」というヒンクレイ十二使徒のお話を裏書きされるような曾ての副伝道部長とお会いしたり、今夏以来北国でも南国でも若い教会のリーダーたちが教会に、社会に活躍されている姿をみる時、共に手を取り合って常に導きとお恵みを下さる天にましますお父様を讃美し、感謝を捧げたいと切に思いました。地方部といっても地理的に狭く、沖縄には二つの支部しか現在ありませんが、彼の地に燃える証の焰は赤く燃えさかっている。「主は一つ、信仰は一つ」の聖句をひしひしと感じました。

末日聖徒の真髄はすべてに對しての積極性にあると思います。信仰すればすぐに悔改めの行動を表わし洗礼を受け、心からへり下って按手を受ける。この福音の第一原則を考えてみても、その謙遜と積極的行動を謳うことが出来るのではないでしょうか。私は今夏以來各地の兄弟姉妹たちと接し、又アメリカの兄弟姉妹たちを見て、その潑刺とした積極性を実に頼もしく思いました。ヤコブの書に書かれているように、「なんじ信仰あり、われ行為あり、汝の行為なき信仰を我に示せ、我わが行為によりて信仰を汝に示さん」と自ら言えるように兄弟姉妹助け合つてこれからも總ての面に一層積極的に努力して行くうではありませんか。

（何れの地にありましても旅の地にあつた私に示された各地の兄弟姉妹の愛を深く感謝致します。）

編集後記

▼心あらたにして迎えた一九六五年もはや二十日を数えてしまいました。

全国の兄弟姉妹のみなさまには今年も新たな決意をもつて臨まれたことと思います。

▼今年是我たちがモルモンにとっては画期的な年となることでしょう。ハワイ神殿に行き、待ちに待った永遠の結婚の儀式、や死者のためのバプテスマ・エンダウメント・シーリングと受けることが出来る年であるからです。このように飛躍を期待される今年は、聖徒の道、でもより一層、奮起してみなさまのご要望に答えたいと思います。

▼最近、支部だより、投書が寄せられて大変結構なことです。投書者は各担当支部の支部長会の方々の許可を得て投書して下さい。投書者の写真も一語に送って下されば幸いに思います。又原稿は必ず原稿用紙を用いて書いて下さい。



HABITS: "COBWEBS, THEN CABLES"

RICHARD L. EVANS

In this whole broad subject of self-control, one phase not sufficiently pursued is that of habits we have. That we are "creatures of habit"¹ is a commonly accepted comment. But habits are not inherent, not inevitable, not alterable. Habits may become deeply fixed upon us, good or bad, but the bad habits, it sometimes seems, tie themselves to us more tenaciously—perhaps because bad habits often have to do with appetites, with habit-forming, enslaving substances, with things that create a craving, and sometimes even with things that appeal to the baser side of ourselves. There is an old Spanish proverb that says: "Habits are at first cobwebs, then cables."² But never can we safely concede that we are helpless before our habits. If we form habits in the first place, which we do, we must be able to break them, which we can; change them, which we must if they are wrong habits. With our habits, or against them, we must not do that which our better sense or our better selves would not suggest, or that which would create an unquiet conscience. If we were to concede that the habits we acquire are beyond our control, we would be conceding virtual enslavement. "We first make our habits, and then our habits make us,"³ wrote John Dryden. Choosing and controlling our habits is a vitally important part of life's process. This suggests the importance of early guidance, of home influence and example. A childish act may seem inconsequential. But a trend or tendency is not inconsequential. An attitude is not inconsequential. What to begin with, seems to be something we can take or leave, may become something we feel we must have. "Just this once" may lead to "just once more." Once more may lead to many more until we have a habit. Concerning someone who gambled and explained that he had only played for a "trifle," Plato replied: "The habit is not a trifle."⁴ Despite all explanations, all excuses, all rationalizing, the laws of life, the laws of health, the commandments are in force, and we must have the character and conviction to control, to change, to make or break or abandon the habits we have. We can form good habits or break bad habits—if we want to. But nothing much is done unless we want to.

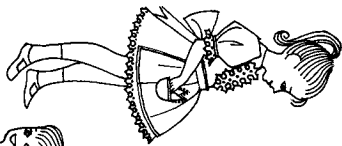
¹George B. Cheever (1807-90), American clergyman.

²Spanish proverb.

³John Dryden (1631-1700), English poet and author.

⁴Plato, quoted by Montaigne in his *Essays*, bk I, ch. 23.

"The Spoken Word," from Temple Square, presented over KSL and the Columbia Broadcasting System, November 10, 1963. Copyright 1963.



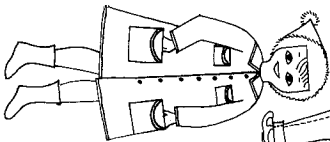
My apron has one pocket, not very deep or wide,

Just room enough for me to tuck a hand kerchief inside.



My jacket has two pockets, and my new blue jeans have three,

Two pockets are around in front and one in back of me.



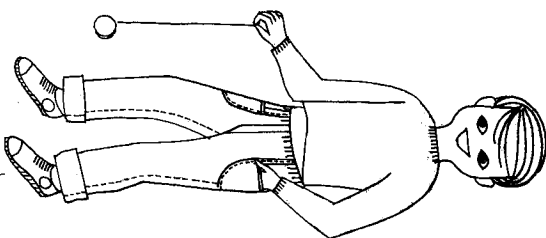
My new red coat has four pockets, the top two are for show,
The others keep my two hands safe from winter wind and snow.

My brother has five pockets in his jeans, I do declare!

Two behind and two in front and an extra one to spare.

His pockets hold so many things in different shapes and sizes.

It's fun to have him reach inside and show me his surprises.



THE FIRST VALENTINE

by Mabel Watts

Cut a bright red paper heart,
Draw a dart right through it,
Paste paper lace around the
edge—

Now that's the way to do it.
Write a tender little verse,
(Be sure to say, "Be Mine!")
Add a dove with shining
wings—

You've made a valentine!

With lots of dates
To celebrate
In busy February,
We're planning fun
For everyone—
So come—and let's make merry!

GROUND-HOG DAY

FEB. 14

NAT'L CHERRY WEEK

A "Doing" Valentine

"Valentines are sissy! I won't give any!" said five-year-old Brad, shoving his electric train away.

Brad's words had been cross. He knew he wouldn't give any valentines, but not because he thought it was sissy, just because he didn't know how to make them.

Brad was feeling sad when Aunt Joyce dropped by. When she didn't receive his usual bright smile, she said, "What's the matter, Brad? Are you ill?"

"I've got to make a valentine and I don't know how.

"Well, Brad, if I wanted to give somebody a very special valentine, I'd give them a 'doing' valentine."

"What's that?" asked Brad, suddenly very interested.

"A valentine usually says *I love you* doesn't it?"

Brad nodded and Aunt Joyce continued. "A 'doing' valentine is doing things for somebody to say *I love you* to them.

Nothing more was said about giving valentines, but all were surprised on Valentine Day to find little red paper hearts pinned in different places in the house. There was one on Brad's toy box where the toys had been carefully put away.

There was one on the kitten's freshly cleaned house. There was one on the clean floor of Brad's closet, usually covered with dirty clothes and shoes. Daddy found one in his tool chest where all the tools

Brad had borrowed were in place. Lettie found one on her checker game where checkers had been neatly stacked. Written on each small red heart was

the message

"I love you,

Brad."

図 書 案 内

教義と聖約	
高価なる真珠 モルモン経	上質革製合本……………1100円
教義と聖約 高価なる真珠 モルモン経	合本……………300円
モルモン経(新訳)	……………300円
信仰箇条の研究	……………330円
モルモンとは?(新版)	……………150円
総合聖句の手引	……………150円
日本系図探究要覧	……………100円
アロン神権者用学科課程	……………150円
メルケゼデク神権、教師と生徒用 「モルモン経の読み方の手引」	……………200円
ナザレのイエス	……………100円
正しい日本史	……………100円
家督権の祝福	……………100円
料理の作り方	……………50円
求道者教育法	……………120円
神の王国	……………230円
基督・イエス	……………300円

日曜学校用

モルモン経物語	……………150円
旧約聖書物語	……………150円
家族の昇栄	……………200円
福音の実践	……………200円
奇しきみわざ(上)(下)	……………200円
我等の標準聖典	……………200円
古代の使徒	……………150円
シオン山の救い手たち	……………200円
教義と聖約の教え	……………200円

M I A 用

我ら指導者のことば	……………200円
我らは生きる(1965年度テキスト)	……………120円
我らは奉仕する	……………150円
生活の目標	……………150円
今日の十誡(1965年度テキスト)	……………250円
MIA・エンサイン・ローレルの手引	……………150円
演説が上手になる法	……………150円
素晴しき考え	……………200円

讃美歌及び歌集

末日聖徒讃美歌(新版)	……………400円
レクリエーション歌集	……………400円

……………注文は各支部長へ……………

THE SEITO NO MICHİ

Volume 9, February 1965, Number 2

THE CHURCH OF JESUS CHRIST OF LATTER-DAY SAINTS NORTHERN FAR EAST MISSION

TEL (473) 1613. 14 Azabuhirōo-cho Minato-ku Tokyo Japan

支 部 所 在 地

北海道地方部	旭川市八条五丁目 MIA集會場 旭川公会堂 電話(二一五四五)
室蘭	室蘭市幸町八九 電話(七〇五四)
小樽	小樽市富岡町一ノ三五 電話(二一八二二四)
札幌	札幌市北二条西二丁目 電話(六三二七六六)
東中央地方部	高崎市並榎町二七五 甲府市山田町六三 松本市幸町三八四 百瀬方 電話(二一六〇〇)
新潟	新潟市中大畑町五五七 電話(二一八六六〇)
仙台	仙台市光禪寺通り二八 電話(二五〇八九七)
東京中央	東京都港区青山北町六ノ三四 電話(四〇八一三〇七)
東京北	東京都中野区江原町一ノ八ノ十四 電話(九五二) 一五三一
東京東	東京都江戸川区小岩町六ノ七八〇 電話(六五七一五二三)
東京南	東京都大田区南千束町二四九 電話(七二九一六三一)
東京西	東京都武蔵野市吉祥寺東町一ノ七 電話(二一六七六四)

山形	山形市七日町二丁目十二ノ二十三 横浜市港北区篠原町二九 電話(四九一八七七二)
西中央地方部	大阪市阿倍野区阪南町中一ノ三八 電話(六二一八三二七)
阿倍野	福岡市浄水町四六 電話(五二一八六五三)
福岡	広島市古田町古江四〇〇ノ三 電話(三一六一一五)
広島	金沢市上胡桃町一一 京都市左京区下鴨松原町四四 名古屋市中区和区北山町三ノ四一 電話(七三二四二一〇)
京都	兵庫県西ノ宮市仁川町四ノ五四 電話(五〇一四一)
名古屋	大阪府豊中市岡町北二ノ一八 電話(二一三三六)
西ノ宮	岡山市北方七〇 神戸市灘区篠原本町四ノ三五 電話(八六二六〇二)
岡ノ宮	山口県柳井市市三九一 長崎県佐世保市山手町 TAIKEI HOUSE CO., LTD.
三ノ宮	佐世保
柳井	柳井
佐世保	佐世保
沖繩地方部	沖繩宜野湾市野嵩区三三八 沖繩那覇市松尾区一三九 東京都港区青山北町六ノ三四 電話(四〇二四〇一〇)
普天間	那覇
那覇	那覇
建築部事務所	建築部事務所

聖 徒 の 道

1965年2月1日發行

振替口座 東京 16226 番

發行人兼 編集人 ダウエン・N・アンダーセン

發行所 末日聖徒イエス・キリスト教会北部極東伝道部
東京都港区麻布広尾町 14 (473) 1613

印刷所 合名会社 三五堂